時間表
[illegible]

京城日報

五日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢 郵券代用二割增
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話 [illegible]

◎奧國先帝の葬儀　途上堵列兵二個軍團

墺國先帝の葬儀は國家多事の際にも拘らず十一月三十日最も莊嚴なる儀式を以て執行されたり維也納に於けるセント、ステフエンス伽藍式場前列中央に新帝は大元帥の正裝にて著席し其の右側には喪服に包まれたる若き皇后著席し此の兩者を挾んで勃牙利王フエルヂナンド、バイエルン王、ルドウイツヒ、獨逸皇太子、サキソニー王、土耳其皇太子等著席したり更に葬儀の席には文武大官外交官等著席し墺國新首相フオン、ゲールベル氏匈牙利國首相チツサ伯最も人目を惹きたり斯くて莊嚴なる儀式終るや靈柩は式場を出でカプチンス寺院に運ばれ此處に埋葬したり當日途上に堵列せし兵二個軍團あり墺國が猶ほ豫備兵力を相當に有し居る事を示したり(紐育電報)

◎羅國首府危機を脱す

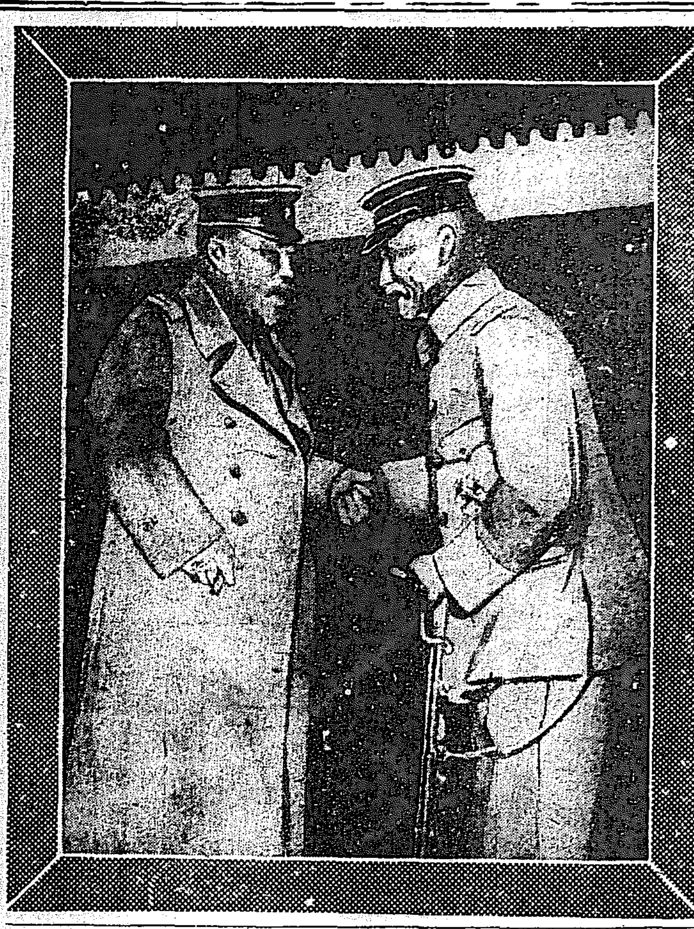
羅馬尼首府ブカレストは露軍の救援部隊到著と共に破竹の如き獨墺軍の攻勢を阻止し漸く危機を脱したり(紐育電報)

◎獨兩將軍の部署變更

獨逸マツケンゼン將軍は羅馬尼侵入軍に留まりフアルケンハイン將軍は新方面の部署に就く事となれりと(紐育電報)

◎完全なる勝利を收むる迄　露國下院の再開＝首相の演説

露都來電＝露國下院は再開せり首相トレポフ氏は其の演説中に述べて曰く露國は假令如何なる困難に遭遇するとも又一時頓挫するとも完全なる勝利を收むる迄は決して干戈を戢むる事なし敵の實力は大に動搖し來りたるも斷然其の抵抗力を破碎するには之れ以上の努力を要すと(紐育電報)



東京驛に於ける寺內首相(左)と總督(右)
―長谷川新總督出發

◎英國內閣改造奏請

公報に曰く首相アスキス氏は最も有力なる方法にて戰爭を遂行せんが爲め皇帝に內閣改造を裁可せられん事を乞へり(倫敦電報)

◎人夫缺乏

露國に於ては人夫の缺乏を告げ之が補充に困しみつゝあり(紐育電報)

◎羅國武官來朝

羅馬尼砲兵大尉サフエリス氏一行軍需品購入の爲め四日夜來朝入京せり(東京電報)

◎支那特使發期

支那遣日特使曹汝霖氏は十日北京出發渡日の旨支那公使に電報ありたり(東京電報)

◎定例閣議開催

五日午前十時より內閣に於て定例內閣會議を開き寺內首相以下各相出席內外重要政務に就き協議せり(東京電報)

◎政府と東拓法案

政府は東拓法改正案が來るべき議會にも衆議院を通過する事困難なる形勢を觀取し內務省に於て前議會提出案に多少の變更を加へ再び提出する事となるべしと傳へらる(東京電報)

◎長門起工延期

海軍省に於ては戰鬪艦長門の起工は來年四月に延期する事に決定せり(東京電報)

◎驅逐艦引受か

某國よりの驅逐艦注文に對し海軍省にては一二隻之れを引受く可しと

◎鐵材漸次輸入

此程來米國より鐵材漸次輸入さるゝに至れり(東京電報)

◎英債盛況

這回內地銀行團にて賣出したる英國政府六分付國庫債券一億圓は頗る盛況にして四日午後迄には六千二百萬圓の應募高を見るに至れり

▲締切　二日より銀行團に賣出を開始せる英國々庫債券一億圓は好況裡に五日締切りたり(東京電報)

◎總督岩國滯在

赴任の途中に在る長谷川總督は四日午後七時京都出發五日午前郷里岩國到著の筈なるが神田秘書官より某筋へ達したる私信に依れば總督は極めて健在にて暫らく岩國へ滯在の上渡鮮す可しと

◎總監茶菓饗應

山縣政務總監は六日午後三時より農業學校長會議の爲め入京中なる各道農業學校長水原農林學校高等普通學校農業教師等一同を總督官邸に招き茶菓の饗應ある筈なるが總督府よりは宇佐美長官以下關係各課長學務課職員等も列席す可し

◎農校長慰勞宴

宇佐美內務部長官は五日午後五時より農業學校長會同出席者同會關係各課長、學務課職員等を京城ホテ[illegible]普學校等に於ける試作品の試食會をも併せ行はる

◎農學校長會同(第二日)

各道農業學校長會同第二日は五日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く宇佐美長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は聽取事項の聽取あり、午後は政務總監臨席の上訓示指示ありて三時閉會したり

◎定例長官會議

五日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官、局長、所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎荒井長官出發

大正六年度朝鮮總督府豫算其の他に關する要務を帶び久しく東上中なりし度支部長官荒井賢太郎氏は六日午後四時三十分東京出發の旨不破事務官より總督府に通知あり途中宿泊の由なれば南大門驛著日時は不明なるも多分長谷川總督の著任前後となる可し

◎森少將出發期

海軍附官會議員森少將は七日午前八時三十分南大門驛發退京赴任の事となれり

◎釜屋武官著期

新任總督附武官釜屋海軍少將は森少將の東上を俟ちて事務の引繼ぎを爲したる後十一日頃東京出發の豫定なれば其の著任期は十三日頃となる可し

◎鮮銀券大膨脹　限外發行百八十四萬圓

新穀出廻りは逐日旺盛を告げつゝあるに其の船車の輸送力は之れに伴はず開港場と各停車場を問はず著るしき滯貨を見つゝある事は本紙に屢報の如きが從つて各地に於ける資金需要は旺盛を呈し之れに加ふるに補助貨不足による一圓券の增發滿洲に於ける鮮銀の活動等相俟つて四日の朝鮮銀行券總發行高は四千六百八十四萬圓の新記錄を示し其の發行制限高を超過する事百八十四萬圓の多きを算したるが尙ほ中旬に入らば增加せん模樣あり

◎英債と銀行

十月末迄は各普通銀行並に農工銀行共若干宛の手許遊金を持し居たるも十一月に至つて新穀出廻りの旺盛並に滯貨の著しき爲め漸次貸出高の增加となり最近は何れも手許逼迫を感ずるに至り結局鮮銀券の大增發となり居れるが今回鮮銀にて賣出し中の英國債券購入は手許在高の關係上一二銀行の外投資を行なきものゝ如く該銀行も遊資處分と云ふより寧ろ比較的有利ならざる證券を手放し六分利の英債に借換んとするにあり結局鮮銀の應募高は多からざるべし

◎滯貨出廻調査

總督府にては各地滯貨と輸送不足問題の喧しき現狀調査の爲め滯貨と船腹の今後、金融との關係、地方財界に及ぼせる影響等に付各稅關並に稅關出張所に付詳細の事情調查中なりと

◎釜山と運賃値上

日本郵船大阪商船及び尼ケ崎汽船互光汽船の釜山各支店代理店は近時の如く船價の暴騰並に船腹不足の爲め從來の運賃にては積取を爲し能はざるを以て相當の運賃額に引上げを爲さんと過日來協議中なるが略ぼ左の運賃額に協定せらるべしと聞けり而して協定運賃は來る一月より實行する筈なりと
(釜山積)▲横濱迄り穀類百石に付本船運賃七十四圓(從來五十四圓)▲大阪神戶迄り同上七十四圓(從來四十五圓)東京迄りは横濱より別漕賃十八九圓(以上は本船運賃のみにして釜山港積入賃は毎百石に付金五圓を別に要す)▲横濱迄り、穀類百石に付百五十圓大阪神戶迄り、同上九十五圓
因に仁川木浦よりの內地運賃は群山は既に運賃値上げを實行し居るも他港運賃引上げの曉には其比例を採りて今日よりは猶ほ幾分の値上げを爲すべしと(釜山)

◎馬山寄港廢止問題

大阪商船會社の朝鮮南沿岸航路寄港地の中馬山寄港を廢止する由なるが其理由は同地寄港は同社の自由航路にして每月二回又は三回寄港せしめ居れるも同地よりの輸出入貨は年額僅かに八萬圓に上らず爲めに同社は每航少からざる損失を招きながら今日迄荷主に對する情誼上忍んで寄港せしめ居たるも昨今の如く船腹不足を告げ釜山、群山、木浦等各港の貨物停滯を爲せる際なるを以て同社は已むを得ず不引合なる同港の寄港を中止するに至れる次第なるが之れを聽きたる馬山官民は大に驚き同地の發展上商船の不寄港は影響を蒙むること少なからずとて此程官民有志三十四名は府廳に集合し種々協議の結果委員を選び上阪せしめ商船本社に對し事情を陳述して寄港廢止を見合す樣懇請する筈なるが同社の意向にては斯かる陳情のみにては到底廢止を變ずが如きことなかるべく貨任出貨は同地の現狀にて之れ又能ふべきことにあらざれば結局來る一月より馬山寄港は當分中止の外なかるべしと云ふ(釜山)

◎安城農產品評會

京畿道安城郡農事獎勵會支會にては來る十一日より三日間小作籾及び農產物品評會を開會すべしと

◎東拓株式高下

以前同株式が好商潮に逢せし時は東拓株八十二圓(五十圓拂込)の値を現はせしも去兩三日は六圓方下落七十六圓なり

◎京城府屠場擴張

京城府の現府屠獸場擴張工事は三日請負業者清水某氏に九千八百圓にて落札したるが期日は本年度中なりと

嶺南廻り　鯨洋

一歸路途上より

馬山は何時來ても、心地好き處也。心地好きとは、居心地好き意味也。山水の妙、朝鮮唯一の別莊地として、何人も異論は挾まざるべし。府廳に三增府尹を訪ひ、警察に北村警視を訪ひ、往談新新、馬山の將來に對する、兩氏の御希望を拜聽し、海岸を徘徊せば、生氣自ら湧くの槪あり。海國に生れし小生は、矢張り海濱に立ちて、洋上に思をやる時、無上の愉快を感ぜずんばあらず。此の日朝來、山又山を、見飽きたる事とて、海上の眺望、更に妙趣を、加ふる事幾倍なるかを知らず。齋知金融組合理事廣瀨君來訪、更に北村氏の、來訪あり、何れも我鄕の人にて、談笑盡きず。此の夜惜らくは月なきを、唯寒風の、窓を撲つて騷々しかりしには聊か辟易せり。然れども馬山は、流石溫暖を以て、誇りとする丈け他所に比して、寒冷を覺へず。翌朝早起、馬山を發す。往時昌原停車場に於て、菊花の尙ほ愛すべきを見たるも、僅に二三日後の今日は既に凋落して、哀れ殘骸は、其處等に散亂せり。三浪津より、京釜線に轉乘、京城に向ふ、大邱より、河合朝鮮民報社長と、席を同ふす。河合君は常日來任すべき、吉松第二部長出迎の爲也。途中若木驛附近にて、機關車の一部破壞、約二時間半の立往生には閉口せり、河合君に分れ、更に櫻井忠北警務部長の、乘車するあり、部長と鳥致院にて分袂すれば、上田理學士と邂逅。此行談敵頗る多く、二時間半の延著も、敢て退屈と云ふ程にも非ず。小生は歸京匆々、再び海州に向つて發せんとす、海に之れ將た緣の深き男なしとや云はんか。

◎ハリス博士七日入京

京城美以敎會の新會堂落成式に參列のため渡鮮の途にあるハリス博士は六日入京の筈なりしも都合により七日午後九時南大門著入京のことゝなりたり

◎松永長官歸京期

管內加平郡の視察を終へ江原道春川に出張中なりし松永京畿道長官は六日午前歸任すべしと

◎三雲大尉入京

平安北道楚山憲兵分隊長より富山憲兵分隊に轉任せる三雲大尉は赴任の途次五日朝入京したるが六日當地發任地富山へ向ふべしと

元山

▲朝鮮造船界の新記錄　元山春日町澤井造船所に於て本春四萬八千六百圓にて契約建造中なりし土木局の築港用浚渫船附屬土運船三隻中二隻は去る九月十日十一月十五日の兩回に竣工の上引渡しを了したるが殘部一隻も愈々十一月二十九日を以て期限通り竣工し十二月三日を卜し元山官民數十名を招待し盛大なる進水式及び同祝賀會を行へり同船は長さ八十八尺幅二十二尺噸數百三十噸にして朝鮮何れの造船所に於ても未だ曾て建造したる例なく實に朝鮮造船界の新記錄たるべきなり▲記念時報機設備期　元山府に於ける御大典記念事業の一たる電氣時報機は元山水力電氣會社の手を經て製作注文中の處去る一日現品著荷したるを以て原技手は水電技術員と立會の上近く機械の檢查を行ひ直ちに据付の設計に著手し來る一月一日より使用すべき豫定なり▲朝郵船の缺航　四日浦鹽より復航すべき朝鮮郵船會社の錦旗丸及び忠清丸の兩船は共に臨時釜山阪神間に就航す可きにより當分の內は北鮮沿岸を缺航の筈なりと▲矢鍋稅關長の出張　元山稅關長矢鍋榮三郎氏は清津支署事務狀況視察の爲め來る十二日頃歸任の豫定なるが河口庶務課長、古森監視課長、藤枝稅務課長と共に十二月一日午後九時出帆の平壤丸にて同地に向け出張したり▲咸南各地結氷　近來俄かに寒氣の加はれると共に咸南北靑郡附近は既に結氷期に入り咸興郡の如きも酒川の結氷を見るに至れる模樣なるが更に南遷して永興郡に於ても去る二十六日來漸く寒に入り地表河川等全部氷凍せりと

仁川

▲淺海支店長轉任　商業銀行仁川支店長淺海興四郎氏は今回京城南大門支店に轉任を命ぜられ近日中に赴任の筈▲仁川驛營業況　仁川驛に於ける十一月營業況を聞くに乘降客數四千九百七十三人にして昨年に比し百四人增到著發送貨物一萬九千二百八十八噸にして昨年に比し四百七十二噸減なるが收入に於ては客貨車合計六萬六百十五圓六十二錢にして昨年に比し三千四百四十五圓三十八錢の增なり▲會議所役員會　仁川商業會議所にては穀物協會の建議に係る日本郵船會社天津就航の三汽船廻航に付き六日午後一時より役員會を開會す

開城

▲蠶具講習終了　開城郡に於ては過般來松都面事務所樓上に於て蠶具製造講習會開催中なりしが去三日其修了式を擧行し[illegible]巡回教師等參列し盛んなりき▲支廳移廳式　建築中なりし京城地方法院開城支廳々舍既に落成したるを以て來る十日移廳式を擧行せらるべし▲正遷宮　開城內鮮人の御大典記念事業たる開城神社は本殿の工事完了の上十五日までに全く其工事完了の豫定にて二十日までの間に正遷宮を行はるゝ筈なり因に神官は京城の井上某氏任命さるべきやの噂あり

群山

▲檢米激增　群山米穀檢查所に於ける最近一日平均の檢米數量を聞くに六千叺に達し十二月一日の檢米は七千叺以上に上り尙ほ受檢數量增加の形勢なるも未だ船腹の不充分なるが爲めに々しからず船腹補充と相俟て近く鐵道輸送を開始するに至らば忽ちにして一萬叺以上の檢米數量に達すべく一方奧地よりの廻著米は日々一萬叺內外に達し居るものゝ如し因に群山米檢所十一月中檢米總數量は八萬九千零九十三叺なりし▲運賃値上　大阪商船尼崎汽船は共に出來得る限り定期船の增航を計る條件の下に從來百石に付群山港より阪神間の運賃六十四圓なりしを九十五圓に同じく横濱名古屋間を百五十圓に値上し來る十五日より實行の旨去る一日當地代理店出張所の手を經て群山米穀商組合に通告ありたるが之に對し米穀組合は他港同業組合の態度を觀望すると共に善後策を講究し居れりと▲道長官來群　李全羅北道長官は松井第二部長大槻技手山道書記を從へ管內觀察の爲め井邑金堤を經て二日夕著列車にて來群翌三日長官一行は千々松池田兩府書記菊屋沃溝郡書記等の案內にて府內外各方面を視察したるが一行は四日一番列車にて臨陂に向ふべしと

大邱

▲道長官歸任　出張中なりし鈴木慶北道長官は途中にて健康を害したる爲め五日醴泉より一先づ歸任の筈▲庶務主任會議　虎疫發生の爲め延期となり居りし本道府郡島庶務主任會議は愈々五日より道廳樓上にて三日間開催す▲大邱學校組合會　大邱學校組合にては四日午後一時半より大邱第二尋常小學校建設の件に關し組合會を催せるが其結果三萬三千圓の起債を三萬五千圓に增額し七千五十五圓を敷地買收費二萬七千九百四十五圓にて校舍建築をなすべく議決せり

人事消息

▲宮本政次郎氏(滿洲製粉會社長)　五日入京天眞樓へ
▲中村辰五郎氏(中村組總支配人)　五日夜入京天眞樓に投宿の筈
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)　同上浦尾へ投宿の筈
▲石井豐吉氏(慶南技師)▲立花道年氏(全州技師)▲宮原忠正氏(水原技師)▲武田總一郎氏(同)　五日朝退京
▲田中新五氏(三田尻試驗場長)　同上
▲次田的二郎氏(遞兵中尉)　同上
▲馬蹄次男氏(東亞煙草朝鮮總販賣所長)　四日夜京鮮地方へ出張
▲布施勝治氏(大阪每日記者)(家族同伴)京都に歸任の途次五日朝入京巴城館へ

意識は、はつきりして居る
大山老公の病状＝西郷從德侯の談

膽嚢炎は不治の疾患にはあらずと傳へらるゝも大山公の病狀は毫も減退の模樣なく只多少便通あるを以て餘病の發生したるものとも思はれず若し不幸にして尿毒症を發したる場合は

▲便通止まる 由にて目下の症之無きを以て見れば幾分樂觀に値すべきか唯咳逆嘔吐止まず甚だしく惱まされ居れり依つて廿八日より三十日迄大葉鰯を以て藥餌を採らず斷食療法を試むることに決し病勢幾分良好なりしも咳逆嘔吐止まず依つて咳逆嘔吐は藥餌の攝取如何に

▲關係なきを 確め得たるを以て更に藥餌を採る事とし一日以來食事を採らしめ居れり何分老體にして殊に去十七日より滿足なる食事無き事とてその疲勞甚だしく又咳逆嘔吐の爲め睡眠不足となり病苦と疲勞と戰はざるべからざる有樣なり侯公は意識明瞭にして

▲談話は自ら 好んで爲さゞるも夫人若しくは醫師に對しては相當の返事をなしつゝあり

撃沈された永田丸
船籍は朝鮮に在つた

五日朝刊所報の如く二日ポートサイド沖にて獨逸潛航艇の爲め沈沒の厄に遭ひし永田丸(三五一二噸)は大阪小栗商會所有船と電報し來りしも

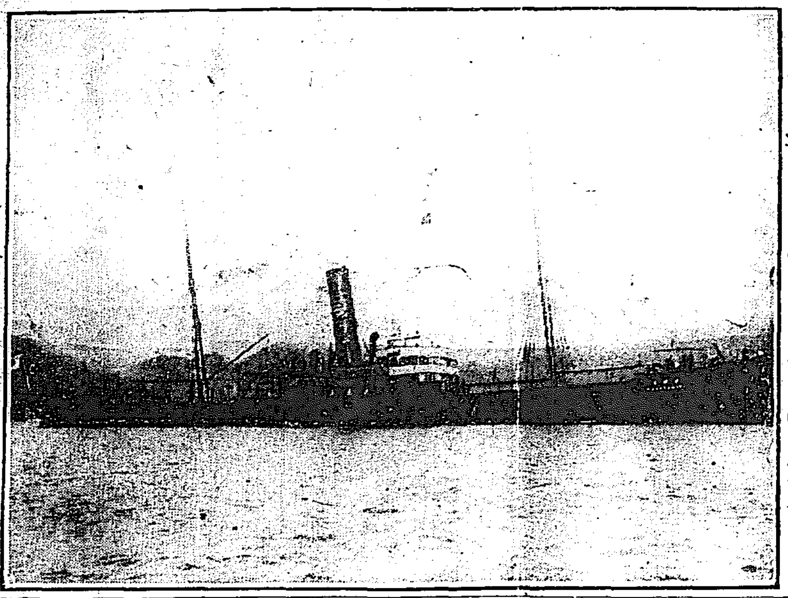
▲事實は大阪永田 三十郎氏の所有にて小栗商會にチャーターせしものに係り其の船籍は朝鮮海州に置きゐたるなり右に付當局の談を聞くに永田丸の遭難に就ては某方面より入電あり朝鮮在籍船にて戰禍により海難を受けしは

▲同船を以て嚆矢 とする

同船は本年八月末永田三十郎氏諸戚より購入し直ちに所定の船舶檢査を受け海州に轉籍せしものにて其船價は百萬圓の購入となり居るも時價にては直に百四十萬圓にて買受の希望を申出でし者あり若し放賣すれば其處に四十萬圓の利益ある爲め同家にては

▲親戚會議を開き 賣却するか若くば他方面にチャーターするかの二途に就き協議せし模樣なるが結局同船の傭船料は年額百萬圓に達するを以て此際多少危險の伴ふ者あるともチャーターを繼續し船價を收得して後賣却するとも遲かるまじと言ふ

▲積極的の意見に 一致したるものにて今回の厄難に遭遇せるが其の保險の如きは幾干附しゐたるか不明なれど船主としては大なる損失なからんと



擊沈されし永田丸

列車衝突損害 三萬圓

十一月二十八日午後六時半京釜線住水院驛附近にて客貨車七輛聯結せる列車が連鎖破損のため後部の汽罐車突進し前部汽罐車一輛及び貨車三輛を破壞したるため乘客には死傷なかりしも車體の破壞夥しく約三萬圓の損害なりと

當分は 暖かさが續く

數日前の嚴寒を過ぎて京城の天氣は小春日和がつゞく當分はこの天候でかたまるであらう、尤も四日の夕方は一時雨模樣であつたがこれは大連の東北から國境をかすめた小低氣壓の影響であつたそして蒙古の北風を送る高氣壓は其後一向優勢なものが現れず四日の夜から七百七十粍のものが支那方面に擴がつたけれどもこれも昨今の高氣壓としては何等の影響もないのである氣溫は四日朝が零下二度にて例年より三度暖かく五日朝は零下三度にて例年より二度低い其他南鮮から東海岸にかけては何れも氷點以上で暖かである

咸興監獄 煉瓦工場出火
兵士五十名出動

咸南咸興監獄構內建築場煉瓦工場より二十九日午前二時半頃發火し同地駐紮七十四聯隊より五十餘名の兵員出動警察署、監獄署員と協力して消防に努め煉瓦窰場及び同假小屋一棟新築(損害約三百圓)を燒失したるのみにて鎭火せり尤も同工場は二十五日より煉瓦燒きの爲め間斷なく焚火し同夜焚口より燃料を補給したる際強風に煽られて焚口より猛烈なる火焰を吐出して遂に發火するに至りたるものなりと

景氣づいた市中＝大賣出し

日米丸、燐寸より發火す
龍岩浦碇泊中―幸に直に消し止む

大阪尼ヶ崎汽船日米丸(一千四百噸)が十一月廿二日午後二時五十分頃平北龍岩浦多獅島に投錨して荷役中船底の積荷なる燐寸より發火し大事に及ばんとせるより海水を注入して同三時四十分鎭火せしめしが積荷の燒失は輕微なりしも燐寸、叺、繩、雜貨、金物類等は水に浸りたる爲め多少の損害を被りたりと

通運丸難破船を救助す

咸北明川郡萬古面永瑞里の二哩位の沖合にて十一月十八日午後六時頃兵庫縣岩見港植田幸右衞門氏所有の日本形帆船(十七噸百三十七石積)一隻暴風の爲め轉覆沈沒したるが折柄二哩の沖を航行中なる元山通運會社の通運丸が急航し來りて乘組員四名を救助し人命には異狀なかりしも船體(二千圓)積荷(五千圓)は全部流失したりと

電報で詐欺

京城若草町居住廣島市下流川町生の加賀美賢(二三)は前科一犯あり友人なる廣島縣人佐

汚物掃除の人夫が減つた

京城府衞生課行部の汚物掃除は平素一日約五百人の人夫によりて取去られつゝあるも此程に至り豫算の關係上止を得ず一部の節約を加ふることゝなり其結果一日百人內外の人夫を減じたるを以て自然從來の如く頻繁に屎尿の取去を行ふことを得ざるに至りたれば府民の住宅にして停滯せるものあらば其由衞生課行部宛申出づれば直ちに人夫を特派し取去せしむべしと

料理屋といふ料理屋を
喰べ荒して歸つたカフエ、パゴダの女將の話

大料理屋式から中料理屋式へ虛飾から質本位に移りかけた京城の趨勢を早くも見て取つたカフエパゴダの女將は先月初めから東京へ

◇料理屋修業 に出掛けた

昔の武者修業者が道場巡りを爲るやうに安いと云ふ評判高いといふ評判美味料理不味い料理は素より有ゆる氣の利いた氣の利かぬ東京中の料理を全部喰べ歩いて料理の味から客の待遇振り座敷の飾り方勘定の高い安い事まで一々叮寧に調べて懷帳面に書き付けて來たが其の中でも特に牛肉の鋤燒とかしわ鍋とは

◇熱心に研究 した女將の

話に京城では鋤燒が一人前四十錢で東京では廿錢とたゞ聞いただけでは肉と米の廉い朝鮮は馬鹿に暴利るやうに思はれますが東京邊りでは二人前で濟す人は少い方で書生さんなどに成ると惡智勝で十六人前平げたの二十人前やつ付けたのと云ふから却々高いものに成りますか京城の一人前では出羽の海だつて

◇十六人分だ の二十人分だのつては喰べられやしません料理は總て朝鮮の方が大變に安いやうですしかし內地のものは朝鮮の料理に比べると皆な凝つて居りますねビステキ一皿七十錢だの一碗一圓などといふ類はとても朝鮮では持てませんがこれからはだん〳〵そう云ふ風に凝つた物を御好みになる方と又一方には今までよりもモツト手輕に料理を召上り度いと仰言る方と二通りできて參りませうこれまでの

◇京城の料理 は一體にあまりに千遍一律でしたからね、この呼吸を呑込んだら私の處などはお客さんが一杯に成つて困りますからスツカリ呑込んでは參りませんでしたホヽヽ、兎角京城の料理屋やらカフエは家族的でありませんのと一寸手輕にウヰスキー

◇一杯で濟す 譯に行かないと云ふ處が從來非常に不便でしたからこれからは更に家族主義お手輕主義にスツカリ宗旨換へをしなくてはなりますまい

歲暮の景氣

儲けた請負業者＝結氷期を控へて＝

今年の請負業者は概して景氣が振はぬやうであるそれは工事は相當に出たけれども永の夏中雨が多くて土工などは皆目あてが脫れた向きもある、京城市中では景福宮內の新總督府基礎工事から街路の工事、下水工事、廳舍の建築等でそれ相應の仕事はあつた、また龍山では新設師團の廳舍が出來る將校官舍が建築されるざつと

▼百萬圓の工事 があつた、それに地方では北鮮國境の淸會線鐵道工事あり元山永興間の元永線あり猶ほ京釜線の改築工事等もあつて相當に繁昌したが何れも連日の雨天には閉口したやうである其の他咸北羅南の第十九師團新設に伴ふ工事から各地港灣の諸工事を始め道廳、郡衙の工事も大分あつた、それで一般に儲けた筈であるのに閑散々々とこぼす向きが尠なくない併しながら卅八議會が通過すれば來年度の全鮮工事界は

▲來年は一層大繁昌

▼相當な殷賑を 來すべき筈である―陸軍にしても鐵道にしても各道廳郡衙にしても―併しながら請負業者の歲暮は何處も同じ結氷期で京城あたりは兎も角北鮮地方では十一月から翌年の四月までは休業せなければならぬから一般にあまり景氣のよい面色はないやうでも其の實懷中は溫かな向きが尠なくない要するに概して云へばよい方であらう

讀者文藝（一等には五十錢の書籍切手を呈す）

▽川柳『犬』

○獵り犬は鳥屋へすつこ入り(一等) 相醍 藤井湖東

▲犬でさへ恩を知るにと與へ見 義州 松月

▲名犬を手先に使ふ發親隊 龍山 正木生

▲鐵丸で犬捕刑に處分され 龍山 十八公

▲野良犬をヌクテーにして捨て 春川 主税

▲犯人も遂々犬に嗅ぎ出され 京城 東海

▲別け隔て下女にや溢 犬に肉 京城 末曉

▲婆看居の犬は旦那の番もなし 永同 笑冷

▲犬の尊敬除闇に杖を振り 春川 八重子

燈ともごろ

五日の夕刊に測候所が華氏と攝氏の使ひ分をしておどかすといふやうな記事があつたとてモシ〳〵あれは罪ひますと訂正が來た△曰く抑も氣象、醫術等の學術上にはむかしから攝氏のみを用ゐて華氏は使はぬことになつて居る、華氏はたゞ一般の御希望により御便宜を圖つて居るのであると、カシこまりました△何か奇想天外的の事を遣つて見なければ女振りが下つてゆくやうに思つてる丸龍會の御歷々は來年の春少し暖かになつたら金剛山探勝をするのだと千代本、淸華亭等が今から計畫してゐる△富美廼家のお文はまだ水々しい若さうな顔をしてゐるがそれでゐて來年は徵兵適齡の立派な實子があつて開業三年祝の時、一妾同樣宜敷御引立を――お金でも拜借に出ましてもお取上のない樣と例の調子で紹介したのには驚いたものもあつた

連續滿員に付
大正館の 曾我兄弟
六日迄日延仕候

預つた品を入質

京城大和町三丁目居住長崎市片淵町生れの村井正(二八)は十月十日本町二丁目相良某より預かり中のスタンダード新大辭典一冊(卅六圓)を十一月十五日橋本質屋に入質し尙其他三回に亘り蒲團及び衣類三點を騙取し本町警察署に檢擧されたり

鎭海の恐水病

鎭海市街に[…]は本年九月頃より恐水病發生し多[…]り驚きて早速海軍病室の治療を受け[…]除害藥液の注射を爲すこと十八回に[…]居れり(鎭海)

時 釜山入港新羅丸一二等客 一等(六名) 北條三郎、米大五名 二等(四十一名) […]

四日午後釜山入港對馬丸一二等客 一等(五名) 芥川湊、布施勝治、同みよ、[…] 二等(十九名) 今村榮松、同龍子、同竹子、[…]

課題募集規程 […] 用紙は端書又は型同の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賄賞は一[…]

天氣 晴れ 十二月六日 […]

開業
齒科 口腔科 大澤醫院
京城大和町二丁目 京城本町四丁目せとものや角より半丁南
診察時間 毎日自午前九時至午後六時
大澤義誠

被布 コート 道行 ノかざり
重掛其他ノふさ
紐類各種
京城明治町筋 尾琴屋 電話一三五九番

荒卷鮭 數子 鰹節
本場みかん 乾物 漬物
京城旭町一 [電一三六七番]
東京澤庵 發賣元 刎川西商店
地方よりの御送金は 振替一番 利用願上候
需品御商に有之候へ共原產地買付品著荷申候爲め精々勉强可申候
本場みかん 産地出張精撰日々著荷致居候爲め多數御用命希上候

米期 機密通信社仁川支局 仁川米豆取引所前

謹告
例年の通り
忘年會、新年宴會、御正月重詰
其他御料理御好に應じ可申候
右不相變御用命仰付被下度候也
京城南山町一丁目三番地
會席御料理 松葉亭
電話二三五番

…外二四人咬傷を受け被害者は全部…死亡せり臨時沿軍建築支部書記宇都宮某は去る九月下旬狂犬の害を被む…午前十時狂犬の爲死亡し二時寺同…洞宗に於て葬儀を營みたるが鎮海署…察署にては頻りに病犬撲殺に從事し…

子供の感冒は 冷たい空氣から

氣候が寒いので乳兒のある親達は、ねんねこで背負つて外出するが之れに就て注意して戴きたい事がある綿の厚く入つた硬いねんねこで能く包んで背負つて居たら
◆乳兒は別に寒いことも ないであらうと云ふので强つた寒い日でも風のある寒い日でも朝とか晩とか温度の低下つた寒い時でも遠慮なく乳兒を背負つて外出するが之れは乳兒に取つて最も禁物である之れから寒くなるに從つて親達に此樣な間違つた處置があると必ず風邪を惹かせるやうな事になる一體親達の考へでは乳兒を温いねんねこで包んで居れば風邪を惹く譯はない、身體はポカ〳〵して温まつて居るから
◆頭巾でも冠せて外出すれば差支へなからうと思ふやうだが、ソコに一つ手落ちがある、誤解と申すのは詰り其點である、乳兒の身體だけはねんねこで温まつては居るが、呼吸する肝腎の空氣は非常に寒冷たいもので、室内の空氣と室外の空氣と、其の温度の差は餘程違つて居て、室外の寒いことは夥しい、外出すれば其冷たい空氣を呼吸せねばならぬから身體だけは十分温まつて居ても、冷たい空氣の爲めに遂に感冒に罹るやうな事になる故に
◆温度の低い寒冷な日に 乳兒を戸外に連出すことは止めるやうにして貰ひたい、殊にまだ乳を飲む哺乳兒であつたら輕症な鼻加答兒でも、乳を吸ふのに困難して衰弱を來すことなど往々あるから何れにしても風邪の誘因となる事や誤解して居るねんねこの事なども十分に注意を拂つて貰ひたい

鴨綠江の結氷

十一月下旬より氣温急變の爲め平安北道昌城郡内に於ける鴨綠江結氷し既に二箇所に對岸支那地と旅渉通路を開始せり例年水の爲め十一月中旬より船航は下江に歸航の途に就く例なるが本年は氣候温暖のため各月下旬迄新義州附近に於ては江運の便ありしも二十七八日以來頓に氣温低下し流氷甚しきため江上殆ど船影を止めず故に目下同地方官憲は冒險的渡渉者に對し嚴重なる取締を行ひつゝありと

新年の繪葉書 巳の歳の意匠 贈答用カード

繪はがき屋の店頭には本月に入つてからぼつ〳〵新年繪はがきやクリスマスカードなどが美しい裝をして現はれて來た、新年繪はがきは例年ならば
■十二支 に因んだ者が種々なのであるが來年は巳の歳である丈け新しい意匠と試みに依つて描かれるに辰や馬や虎の樣な景氣のよい者と違つて意匠が大分困難で、人に依つては不愉快の念を催ほす者があると言ふので
■數多い 見本の中にも巳の歳に因んだ繪はがきは餘り見受けない、偶々あつても江の島や、不忍池の辨才天か、巳の寸句と言つた者の五枚物や、小さい蛇が餘り人の注意を惹起しない程度で畫かれて有る位ゐの者である、此れに反して畫題の遠山の雪は頗ろ多くて
■畫題は 重に白雪を頂いた富士の遠見か重疊たる山岳の白衣を纏ふた姿で崇麗な清淨な感じのする者が多い其位の者では肩の凝ない四五枚物の新年の女天下情歌漫畫戀の新年と言つた者や小供のになると僕のお正月
■飛行機 から見たお正月巳の春と言ふ極めて無邪氣の者で中にも飛行機の繪はがきが一番多く種類があつて槪して圖案式が全盛を極めて居るらしい定價は五枚物で十錢から十二錢一枚物で二錢三錢位ゐである クリスマスカードは
■英國物 は進過ぎて歡迎されず、獨逸品は華やかで精緻であるが輸入しないので日本製の廣重の繪や其他感じの重々しい木版摺りの風俗畫とカレンダー位ゐである、扨繪はがき屋の歳暮の景氣はと云ふと戰爭の結果クリスマス
■贈答用 のカードは在留の交戰國民は何れも故郷に送るのを見合せる者が多く故國に送る人は十月中旬頃已に送り例年注文のあつた外國人は未だ何の注文もして來ない、內地人は正月を目前に控へて居る事とてクリスマスの贈答には餘り奮發ないから
■カード 類は例年に比して五割方需要が減ず可く繪はがきは景氣の恢復と共に賣行が宜いと見込みを立て丶目下盛んに見本を取り寄せて居るが此の方はカードと違つて猶が生れて飛ぶ樣な好景氣を見るであらう(仁川)

小倉末子女史 京城演奏の日程

畏くも皇后陛下の御前に洋琴の彈奏を試みたる小倉すゑ子女史は來る二十日より鍾路基督敎青年會館に於て演奏會開催の豫定なりしが今回都合により日程變更の上十八日二十日兩日午後八時より朝鮮ホテルにて、十九日二十一日兩日午後七時より鍾路青年會館にて出演のことに決せり

鐵道敎習所卒業式

朝鮮鐵道從事員敎習所にては四日午前十時より同所に於て電信修技生の卒業式を擧行したるが定時生徒職員並に來賓一同著席するや志賀所長先づ卒業生一同に對し卒業證書及び賞品の授與をなし次で同所長及び福田生徒監より一場の訓示ありたる後西村卒業生總代の答辭ありて閉會を告げたるが本期卒業生は二十九名にして卽日夫々各驛に配屬せり

記念會堂落成式

京城旭町二丁目美以敎會にては豫ねて工事中なりし御大典記念會堂の新築全く落成せしを以て來る十一日午後四時より同所に於て落成式を擧行することゝなりたり當日はハリス博士平岩監督其他總督府の高官宣敎師信者無慮五百餘名を招待すべしと

連絡船上陸客

四日午前九…(以下判讀困難)…三等(百四十五名)

鍾路通の停電

三日午後十一時半頃京城電氣會社の西大門行電車が鍾路通りの交叉點を進行中電線切斷したる爲め運轉不能となりしも約十分の後復舊開通せり

顏の用心

暑い時でも寒い時でも顏を洗ふのには微温湯が一等宜しうございます、それで石鹼をつけてごし〳〵磨くは宜しくありません石鹼はほんの垢を落すだけに止めて輕で洗ふのが宜しうございます、白粉は煉白粉を用ひ顏は水白粉を刷毛で幾度も塗つてほんのりと紅をさすと可愛らしく見えます之れから寒い外を歩いて來て急に温かい屋內に入る時には是非顏を摩擦する必要があります度々摩擦することは皮膚の爲めに大變よいことです顏をあんまり剃るのは宜しくありませんさうかと云つて西洋の方の樣に生毛のまゝで居る事は日本人には到底できません一箇月に一度輕く剃刀をあてればいゝかに毛深い方でもみにくい程にはならないと思ひます

道參事の記念碑

慶尙南道咸陽郡池谷面介坪里居住鄭浩欽氏は道參事にして夙に公益を圖り殖產興業其他に貢献する處尠なからず今回上地の有志尹某、鄭俊煥、鄭淡黙、趙東圭等の諸氏同面の代表者となり鄭氏の德を後世に貽すべく記念碑を建設せりと(釜山)

辯護士忘年淨瑠璃會

京城辯護士連は忘年會を兼ね五日午後六時より喜久家にて淨瑠璃天狗會を催す筈なるが語り物次の如し
御殿(千代) 堀川(中村白笑) 天功記十段目(ロ 安住鐵造) 同吳(大久保可笑) 忠渡寺(高橋照) 三味線(奈良梅)

神社とお寺と敎會

○京城神社(倭城臺) 五日午後二時より天滿宮の遷座祭を執行せり
○開敎院(本町三) 六日午後一時より社稷洞に於て鮮人敎會あり
○曹洞宗別院(若草町) 五日午後一時半より達磨忌の說敎あり

商況

債券現物特電 (前日との比較)

[illegible]	[illegible]

東京株式特電

	前場 寄付	大引
東京株式	[illegible]	[illegible]

公債直取引 (前日との比較)

甲號五分利	九七、一〇
五分利特別	八二、四〇
四分利	九七、〇〇

深川在米特電

四日現在高	[illegible]
內地米	二三、五二五
朝鮮米	六三、九九四
臺灣米	二八、八二九

東京期米特電

四日	前場	後場
二月限	一八、八九〇	[illegible]
寄付	一八、八九五	[illegible]
高値	一八、八八六	[illegible]
安値	一八、八五	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

大阪株式特電

種類	四日前場	四日後場
前場六十圓高	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電	[illegible]	[illegible]
和歌山電	[illegible]	[illegible]
大阪新	[illegible]	[illegible]
東洋新	[illegible]	[illegible]
同上新	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

[illegible]	[illegible]

大阪期米特電

四日後場	寄付	止め
十二月限	一八、七九〇	一八、七九〇
一月限	一八、八〇〇	一八、八一〇
二月限	一八、九九〇	一八、九二〇
三月限	一八、九〇〇	一八、九二〇
四月限	一八、九〇〇	一八、九二〇
五月限	一八、八九〇	一八、八九〇

下關期米特電

五日前場	
當限寄付	一七、三九
中限寄付	一七、六七
先限寄付	一八、〇九

雜報

皮革類更に暴騰 約六七十圓方の奔騰 キット一等近十錢乃至十五錢昂騰

前月來米國革は暴騰に暴騰を重ね景況の如き僅々一箇月足らずの間に…(判讀困難)

進む二十五錢方の躍

(判讀困難)

鉛板突飛 平板一躍十五錢浪 板十錢內外の突飛

大阪より俄々高値あり…告げたり市中賣値として平板二十錢を唱へられつゝあり

十一月中の生魚

京城日丸市場十一月中の生魚賣揚高は九千五百六十一貫金高一萬四百十二圓二十錢にして個數に於て前月より二百三十餘個增加を示せり之れ元山鯖の多かりし結果なるが前年は卽位御大典に盛況を極めしに反し年同月は商虎疫流行の餘影全く去らざりし丈數量金額共に減少を呈せざりし而して前月中の廻着別最高最低を示せば左の如し

種類	數量	平均價段	最高價段	最低價段
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

綿布類不味

牛皮先高說

木炭ヂリ高

下關相場

珍相場を示す

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場 四日

仁川期米

▲五日前場 天候 天前

大阪天候…寄十八圓○九錢の入電 昨止り十錢安の二節十八圓丁度と

安移り…○七錢と高移し大阪の七節…

下げ澁ぶる

市場零聞

仁川米豆取引所

五日の二月限

賣買取組高

青物小賣相場

前場の手振

能く賣る

能く買ふ

今の商內

依然小相場

地場正米より打算上地場正米の相場は結局餅搗の杵に繫がる大阪の歸關係 地場餘地なく又上賣の見ば採算

森仲買店 仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 電話店用 長 九〇五番 本宅電話 八三二番

キ原潮商店 大阪堂島米穀取引所仲買人 多少に不拘御注文願上候 電略北 一三一〇〇 五三二〇九八

平田商店 期米 仁川海岸町米豆取引所仲買人 賣買 電話一五八長一五九 電略(ヒ)又ハ(ヒラ)

迅速 確實 仁川海岸町取引所仲買人 (定期米賣買案內御申越次第呈送) 電話一六五番 一六〇番 六三二番

資本金參百萬圓 明治三十八年設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城府南大門通一丁目十四番地 株式會社漢城銀行 長 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 電話 局二六四六番 二三九番 振替京城二一八六二番 支店所在地 水原、平壤、大田、開城 出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

大谷光瑞師著 放浪漫記 本派本願寺前法主 大谷光瑞師著
▲大谷光瑞師肖像と署名筆蹟、聽松草堂漫興三十首眞蹟、旅行地圖、各地寫眞數十種挿入 菊版上紙四百五十頁 大和綴絹表裝上製函入 定價參圓 郵稅二十錢
回大谷光瑞師は、貴族中の貴族也。矜持自ら持し、素行修潔の士也。其の意見と文章と、豈に容易に預り聞き、縱まゝに看るを得んや。然も持り本書に於て、且つ師親ら手記する所のものを、趣高邁眼一世を空うする人也。亦た驚喜ならずや
回『放浪漫記』及之に附屬せる『避暑漫筆』『閑餘隨錄』は、實に師が心血を凝聚したる一片と謂ふも可也。師故あつて敎界を退き、大正三年末飄然去つて漫遊の途に就てより、東南亞細亞の各地を遍歷し、時に一處に停頓するとあるも、今猶ほ炎熱風霜を冒すを止めず。獨に本派有志の徒、特使を派して日本歸還を懇請したるも、師遂に肯せず、自ら昔んじて長く客土に老んとするの慨あり。其志豈に深く諒す可からずや。
而して此際師が目擊する所、感概する所の事々物々、及平生蘊蓄する所の『抑塞す可からざる』一腔の想念は、其の靈腕に上つて清新俊邁の文字となり、世の操觚者流をして後に瞠若たらしめんとす。師の自重せる決して世間に售らず、獨り我が蘇峰學人を透して國民新聞に登載するを諾せり。去々年來讀者諸君の時々喜讃せらるゝ者、卽ち是也。今之を集めて以て一卷を成す、本書の價値、寧ろ吻々を須ゐんや。
回本書『放浪漫記』は大正三年十一月發程より、大正四年六月普陀の避暑に至る迄を收む。其間朝鮮、滿洲、西伯利、關東州、中清、海峽植民地、印度等の人事、風土、生產、商工業、動植物、氣象、風景に至るまで遺す所なく、且叙し、且論じ、其の經綸抱負の一端を窺はしむると同時に、其の『避暑漫筆』と『閑餘隨錄』とは、人をして更に師の學殖と見識と文藻とに歎服せしむ。觀察の精到と趣味の深邃とに敬服せしむ。回世の識者、或は師を以て一本立の出來る學者、總理大臣級の政治家と見做せり。果して然るや否や、本書を繙く者は必ず其の消息を得ん。
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇 大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

新築移轉 明治町二の卅 (元漢城病院下橫通 川崎大正醫院前) 產科婦人科專門 中央婦人病院 手術室病室各等完備 院長 衣笠茂 電話二三四〇番

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 增本酒店 電話一二〇九番 振替京城六一九番

御會葬御禮 大正五年十二月六日 男 清本正夫 親戚 友人 總代

故鈴村文六葬儀の節は遠路態々御會葬被成下難有奉存候右不取敢御禮申上候 十二月五日 妻 鈴村イト

年末年始贈答品新荷着 ▲漆器、鏡臺、針箱、衣桁、花臺、將棋盤、神佛具、柳行李、荒物其他各種、家具類 卸小賣 金 丸金家具店 釜山辨天町二 電話一〇六番

期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 今延商店 致富之架 進呈 電話北四六八番 北四六九番 北四〇七番 略號(イマ)

移轉廣告 本院左記へ移轉仕候 野田齒科分院 仁川本町三丁目四番地 (井上藤吉商店下)

M印 品質本位 ゴマ入り 大阪府南久寶寺町四丁目 秋田商店

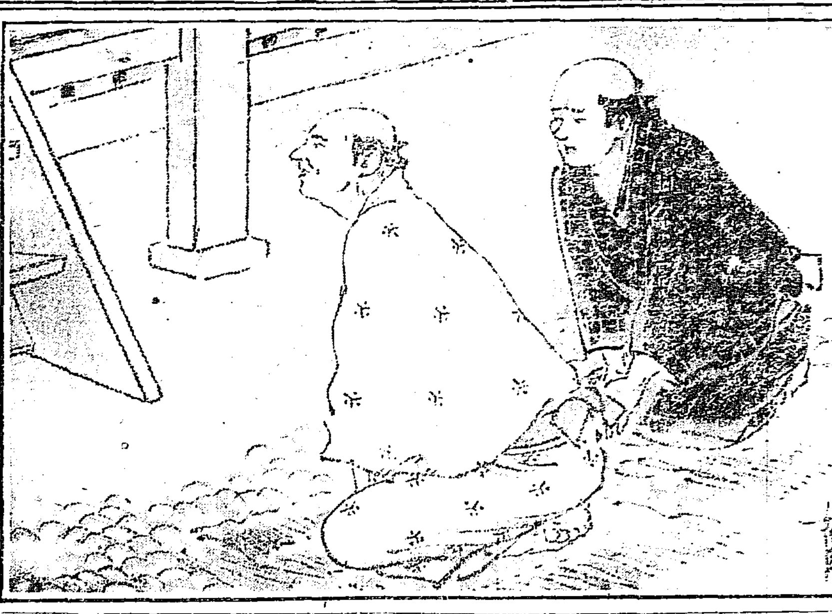
宇治茶直接販賣 歲末年始御贈答用には 御茶銘錄定價表(二百目ニ付) ◎玉露製 ◎煎茶製 ◎折物製 製造元 本店 京都七條東洞院角 營業所 井上六平 電話 大阪七一四 東京六二九三 振替 大阪七一四番 東京二三九二番 問屋製茶販賣御望ノ方ハ御照會ヲ乞フ

宮本武藏

第二百三十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

長岡外記は 外『コレ源兵衛、其方は何ういふ譯で此の佛像を取上げたか其の次第を申せ』源『恐れながら申し上げますが、喜兵衛は此の佛像を掘出して己れが家へ安置いたし、幕を張り提灯を出し、種々飾り物等をいたし又商人などを集め大業にいたすのは、コレ己れお觸れ廻つて人を集めましたもので、結局金錢を貪る爲且ほかゝる騷ぎをいたしては往來の妨げにもなり、切支丹の信者でもあ



るまいかと存じて佛像は取上げましたのでございます、又島貫金の佛像と申しますが、手前が鑑定いたしました處では悉く鍍金で、廿年來以來に出來ましたもので、決して古いものではございません、然て見ると此の喜兵衛が拵へごとゝ存じますので』と云ふのを外記が聞いて 外『ウン』と云つて佛像と喜兵衛の顏を見比べて居ります、最前から傍に樣子を聞いて居りました曉雲が 曉『外記、其の後を俺に調べさしてはくれまいか』外『結好でございます、何方願ひます』曉雲は其處へ進み 曉『コリヤ喜兵衛、其方の生國は何處じや』喜『生は當國でございますが永らく上方へ行つて居りまして久しく中絕をして居りましたが、再び己れが生故郷へ歸つて參つたのでございます』曉『上方と申すは何處だ』喜『大阪の生玉に居りました』曉『餘程永いこと居つたか』喜『十四五年居りました』曉『それから歸つたと申すが大阪へ行かぬ前より源兵衛方へ立入つて居つたか』喜『イヱ大阪から歸りましてから源兵衛とは懇意になりました譯で』曉『それより今日まで何をして居つたのだ』喜『稼業は日雇でございます』曉『日雇と申せば一定の業ではない頼まれゝば何でもいたすのじや』喜『左樣でございます』曉『コレ源兵衛』源『ヘヱ』曉『其方宅は餘程古いと申すことだが普請をいたしてより何の位經つな』源『左樣でございます、只今の家は祖父の代に建てましたのでございますが、最も十二三年前に手を入れました』曉『其時に手傳は誰つたであらうな』源『ヘヱ』曉『多く雇つた中に喜兵衛も參つて居つたか』源『喜兵衛も其の時には參つて働いてくれました』曉『コレ喜兵衛、汝は不埒な奴ぢや、此の佛像は大阪にて作へ源兵衛方へ手傳ひに參つたる際己れが緣の下へ埋め置き彌陀の告げなぞと申して大勢を騷がせ源兵衛方の緣の下を掘返し、事大業に觸れ歩き己れが家へ如來を飾り賽錢供物等を取立て、榮耀榮華に暮さうとは不屆至極な奴、何うぢや恐入つたか、此の上僞るに於ては牢問拷問にかけても云はして見せる、此方の眼力に見違ひはない』とハツタと睨んだ時に喜兵衛は眞蒼になつてブル〳〵と慄へて 喜『實にお眼識恐入りました、此の通り彼の彌陀佛は手前が大阪にて作へ其の後故郷へ立歸り長岡屋の緣の下へ己れが埋め、彌陀の告げなぞと申し觸して信者を集め多くの金を集めましたに相違ございません、此の上は重き御刑に仰付られるともお怨みとは存じません』曉『全くそれに相違ないか』喜『相違ございません』曉『然れば一統の者追て呼出す今日は立ませい』と一統を退げました、中一日隔いて長岡外記が落着を申し渡して、喜兵衛は死罪と相成り其の餘の者構ひなく、是れ曉雲の調べ方にある處で、善惡が相判りました、長岡屋源兵衛は鬼源と云つた位惡い奴であつたが、無常を悟つて善人となり專ら慈悲善根を施したといふ、是まで佛喜兵衛と云はれて衆人に愛された者が惡人であらうとは人も知らなかつた、此の調べに依つて始めて惡人といふことが判りました是が其の當時長岡で評判をした鬼が人になり善人が鬼となつたと云ふ話しは右の次第でございます

愈々寒さ來れり
冷性で御困りの御方は―
津村本店の
人參エキスを
御存知無き御方でしよう
京城本町一 電話一四八〇 振替三五一一
津村兄弟商會本店

花柳病
皮膚病
須古醫院
京城府永樂町一(商品陳列館通坂の上)
電話二一〇二番

內科
小兒科
婦人科
京城醫院
村上憲佑
本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番

妾しやアンパン
ねしやドロップス
買ひに木村屋二人つれ
(京城明治町 電二八七〇)

☰

十二月七日九星
舊十一月十三日戊寅
木命六白乾滿大安

▲六白●心の荒ぶ有る日縁談新事見合南方は吉 ▲七赤●趣善の日轉居開業入學名弘求職、縁談婚禮女子の慈善事業を計る事萬吉 ▲八白●勞務の日轉居旅行入學名弘金件求職縁組定期取引等萬吉 ▲九紫●餘程々々敷事有る日新事手控ふ事は吉萬親切にせらるべし ▲一白●愉快の日轉居入學行商名弘金談求職結婚音樂藥等萬吉 ▲二黒●大儲有る日轉居旅行入門名弘金談求職 ▲三碧●驚嘆の事有る日 [illegible] 吉 ▲四緑●平運の日物の下拵へを爲すは吉新事手控 ▲五黄●盛運の方吉庭園の手入樹を植ゆるは吉日轉居行商出願名弘求職造船婚禮大なる金を貯る等萬吉

演藝案内

浪花館 明治町 電話二六〇
新時代の浪花節吉川今勝一行來る ▲二日より毎夜六時開演 讀物毎夜續き △五郎正宗(吉川都)△征韓論(吉川鐵丹)△いかるが平治(浪花錦昇)△慶安陰謀録(吉川容堂)△義士本傳、美人殺(長講二席吉川今勝)

有樂館 本町一丁目 電話二六六
十二月二十七日より三大名畫提供特別興行 [illegible]

御成座 寿町 電話一九一
第三十九回番組 [illegible] 大和櫻 全十一場 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
十一月廿九日より引續き特別大興行 [illegible]

黄金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)
十二月五日より特別大寫眞 [illegible] 軍事大活劇 [illegible]

てんかん
病の自宅療法
無代で教ゆ
てんかん腦病にて時々ヒキツケ種々の手當も效なくお困りの方切手三錢封入御申込みあれば永年の經驗で自宅で治す最善の良藥並に之が療新法の詳細を報ず
同病困難者速に只一回を試みよ
名古屋市中區南小川町東側 救生館

驛山五十嶋 村上唯吉共著
富の道しるべ
定價十五錢 郵税二錢
京城日報社代理部

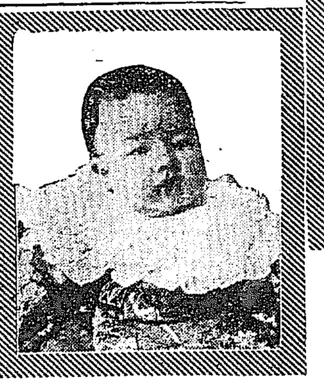
女子出産の禮状
靜岡縣田川郡上野村 內山あつ子

健男子を産むた感謝
[illegible] 香川熊二郎君愛兒

愛兒を擧げた
小倉市魚町一 島中百合子夫人愛兒

女子分娩の喜び
靜岡縣田川郡上野村赤池 內山あつ子夫人愛兒

男子出産の感謝
武州飯能町二 車場前 横田貞二郎君愛兒



男子分娩しました
紀伊國田邊湊 金谷安一郎君愛兒

婦のくすりで一番よくきくのは命の母です

ソレハ何故……曰く
第一流の藥學博士 下山先生が

命の母は
婦人藥として坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絶せる効驗あるを余は證明す

これぞ婦人の最良藥

命の母藥價

二日分	廿五錢
七日分	八十錢
二週分	一圓五十錢
五週分	三圓

加減命の母	
五日分	八十錢
十日分	一圓五十錢
廿日分	三圓
二ケ月分	五圓

買方
到る處の信用ある大藥房にて販賣せり。品切れの時は本家へ申込次第送る

御注意
命の母には數種の加減藥があるから本家へ申込時は容體明記あれ

こんなよい子供の出來たのは命の母で子宮病が治り身體が丈夫になつたからです身體を健康にするには北尾佐藤西巻三醫學士の書かれた

婦人病者の心得

をお讀みなさい 本書には姙娠の原理から婦人病一切の治療法が詳しく説明して有升之は本家へハガキで申込次第無代送呈

早く試み玉へ
●白帯下なが血に苦しむ人
●脚腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて脊肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又胸先へ差込む人
●卵巣炎や喇叭管炎の人
●浮腫痺れ痛氣の人
●腦神經衰弱の人
●貧血顔色惡き人
●頭痛眩暈に苦む人
●癇高ぶり、心悸亢進の人
●安産肥立ちを望む人

命の母 子宮靈藥

本家 東京京橋區新榮町四丁目一番地
笹岡省三藥房
振替東京五〇五〇番 電京二二〇一番

第三版
京城日報
六日夕刊（夕刊と合せて八頁）
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城大和町一丁目 合資會社 京城日報社

羅馬尼の運命

京城日報

獨墺軍羅馬尼に進入し、既に多瑙河を渉りて遂に要害の地を占領し、首都ブカレストは遂に包圍せらるべき形勢を成せり、或は首都の防禦力を云々するものあれども、今日となりては其運命最早定まれりと云ふの外なく、羅馬尼も亦遂に塞爾維と其境遇を同うするものたるを免れず。吾人嘗て、今日の戰爭は强大なる刀の爭闘にして、弱小者にして其間に加はるは徒らに自ら傷くるに過ぎずと爲し、國際の事ある日に當りては弱小國家ほど厄介なるものはなきことを評説したり、譬へば猶ほ大刀山常陸山の如き横綱力士が、死力を出して土俵の上に爭ふがごとし、勝敗は力士の力量技術及び機勢に依りて定まる、假令婦人小兒各々其最負にする所の者を援助せむと欲して此に加勢するも、敵味方の輸贏を左右することなくして、只自ら踏み殺さるゝの危險を冒すに過ぎず、一昨年以來の戰爭にて小國の此に參加するもの皆自ら禍害を招かざるはなし、羅馬尼の如きは亦其數に免がれざるものなるべきか。

羅馬尼は固と局外中立國なり、而も其地位黑海多瑙河の交通の咽喉に當り、其農産物及び石炭石油の産出甚だ豐富なるを以て、敵味方共に之を誘致して其資に依ることを求めたるや論なく、其の起ちて聯合軍に參加したるは甚だ稱すべきに似たりと雖も、羅馬尼政府は其國民がトランシルヴアニアを獲るを望むこと甚だ切なるに餘儀なくせられて、其大軍を同地に出し遣り、其本國に缺隙を生じたるに乘じて、獨墺勃土諸軍其國内に侵入し來り容易に多瑙河を渡るに至る、世間専ら其作戰の拙劣を指斥するが如くなれども、彼にありては已を得ざるの事情ありて存すべく、假令其作戰巧妙にして一時の功を奏するとも、弱小は何處までも弱小なり、素人業は何處までも素人業なり、其困陪を招くは必然にして只早晩の差あるのみ。而して羅馬尼にして敗るゝときは彼の農産物及び鑛産物は共に敵に資するものたるのみならず、其多瑙河黑海の交通の便亦獨墺の手に歸するの次第にして、彼をして局外中立國たらしむるに比して味方の不利たるや言ふまでもなきなり、然れども今更之を云ふも益なし、聯合軍たるもの其の東方に失ふものに對して大に桑楡に得る所なかるべからず、羅馬尼は今日世人の耳目を集むる所なれども、固と是れ東歐羅巴一隅の出來事に過ぎず、顧みて歐羅巴中原を看よ、佛蘭西國内製業製造工業殷盛の地にして、今猶ほ敵軍の支配に委する處多く、露西亞の廣土亦獨逸の爲めに占領せられ居るといふ有樣なりして、英佛露軍たるもの速かに敵軍を掃蕩して、自ら全くするの計を明らかにせざるべからず、且羅馬尼を救ふの必要あることく、白耳義を救ふて其領土を回復し、塞爾維を助けて其故土を恢復せしめざるべからず、最近佛露戰線の爭闘頗る緩漫を極むるものあり、是れ敵が其力を東方に分ちたるに由ると云ふと雖も、聯合軍よりて云はゞ即ち是れ力戰急攻速かに其功を收むべきの時ならざる可らず。

水産組合成績

朝鮮水産組合は其の組織變更以來組合員の增加に伴ひ益々其の事業を擴張しつゝあり、今大正四年度中に於ける事業の種類及び其の成績を擧ぐれば左の如し

△施療及救濟 病傷者の施療及遭難救濟に就きては組合本部各支部出張所に專屬又は囑託醫師を置き漁業者の病傷を施療し又支部出張所所在地以外の地は巡邏船に依りて各地の巡回診斷及び施療を行ひ又た漁期に際しては漁場に臨時患者收容所を設置し療病救恤の便を與ふ、大正四年度中の施療患者は内地人六千二百五人、鮮人一千五百六十四人、合計七千七百六十九人なり、遭難救濟は組合規則に依り組合員にして疾病水難其他の原因に依り死亡したる者又は遭難の爲め行衛不明となり若くは漁船漁具を失ひたるもの等に對し救濟金を附與す、大正四年度中の救濟人員二百五十七人救濟金額二千二百三十餘圓とす

△出願及屆出 組合員の爲めに漁業出願屆出の代辨を爲したる件數四千二百餘件、關稅免除に關する證明交付件數四千百餘件にして法規を解せず官廳に對する願屆の手續を不案内なる漁業者は之を以て多大の利便となせり

△紛議の調停 漁場の境界其の他漁業上の利害衝突の爲め當業者間に紛議を生じたる場合は組合に其の裁斷を依頼し來るを以て組合は相互の申立及び實地の調査を爲し之が仲裁調停を爲し圓滿に解決するの方法を採れり、大正四年中に於ける調停件數は内地人相互間のもの五十六件、内鮮人間のもの六十六件、鮮人相互間のもの六十六件、合計百八十八件とす

△漁業根據地 漁業者が漁場に出漁し常に困難を感ずるは飲料水の乏しきに在るを以て組合は漁船集合地の樞要なる箇所に井戸の掘鑿を奬勵し該經費を補助して良水の供給に力む、大正四年度中に於ける掘鑿井戸の箇所數は四箇所補助金の支出百八十五圓なり、又た組合は漁業根據地として土地を買收し又は國有地の貸下を受け之れを漁業者の團體又は個人に貸付を爲す其の箇所數十五箇所坪數六千八百餘坪とす

△漁村の經營 本組合の經營せる移住漁村は慶尙南道昌原郡鎭海及び同道巨濟島松眞浦の二箇所にして移住者は漁業の外副業として農業に從事す、大正四年度中に於ける移住漁村經營の成績左の如し

▲鎭海移住漁村 現在移住者は愛媛縣七戶、福岡縣五戶、德島縣五戶、三重縣一戶、大阪府五戶、熊本縣四戶、岡山縣三戶、山口縣一戶、香川縣二戶計三十三戶百六十七人なり、移住者の從事せる漁業の種類は延繩、打瀨網、壺網、手繰網、石首魚繰網、磯繰網、等にして大正四年中の漁獲高一萬九千百圓一戶平均五百八十圓にして小規模漁業としては成績良好なり、又た家族は麥、粟、豆、芋、蔬菜類の栽培及び漁獲物の行商を爲し生活費を補ふを以て或は漁船漁具を新調し或は共同貯金を爲す等概して生計に餘裕ありて且つ風儀善良也

▲松眞浦移住漁村 現在移住者は廣島縣十二戶、鹿兒島縣、熊本縣、香川縣各一戶、山口縣七戶、兵庫縣十二戶、合計三十四戶百五十六人とす移住者の漁業は延繩、手繰網、五智網、打瀨網及び一本釣等にして大正四年中の漁獲高一萬七千餘圓、一戶平均五百圓にして小規模漁業としては亦た成績良好なり、政府より貸下を受けて造林又は開墾を爲し麥、豆類、蔬菜を栽培して相當の收穫を擧げ一般に生計に餘裕を生じ大正四年中に於て漁船を新造するもの九隻に達し漸次堅實なる發達を遂げつゝあり

△其他の業務 以上の外組合は組合員善行者表彰、郵便物取扱、不正漁業者檢擧、補助等各種の業務を行ふ而して組合は海上に於ける各種の事務を行ふ爲め本部及び支部に一隻若くは二隻の巡邏船を配置す其の總數石油發動機船二隻帆船十一隻計十三隻とし大正四年度に於て六隻を新造し古船六隻を廢船とせり而して現在組合員の數は内地人一萬八千三百三十五人鮮人八千八百二十三人計二萬七千百五十八人なり

鏡城訪問記（三）

西海生

□咸北道廳の幹部

▲咸北の道廳は平家作りの粗末な建て物であつた、正面の玄關に立つと受付口と相對し、第一部長の室がある「平壤の道廳も一部長室が最も手近だ」など思ひつゝ、三田部長に刺を通じてすぐ通された

▲三田事務官は温厚の君子人である「折角お見わになりても、鏡城はこんな淋しい所だし、咸北としては一向新らしい話しもない、何しろ道内二百七十萬町の面積中耕地は僅々十七萬町九十六分強にしか當らぬのですからな、勸業施設をしても張合が少ない、事實山岳又山岳、山ばかりですよ、唯僅に七八萬町は將來未墾地として開墾の望みもあるが、氣候の關係上、民間の人は仲々開拓をしない、若干の水産と之れから淸會線なども通じたから漸次見出されやうと云ふのは奧地の鑛業です道として目下主力を注ゐであるのは畜牛……」

▲そこに八田技師、山崎事務官も見えた、話しが段々多方面に亙つて行く、淸會鐵の不用な線路を鏡城以南に敷ゐて欲しいとか、間島に於ける朝鮮人と土地所有權の關係並に支那官憲の態度とか、吉會線の將來とか云ふ事である、山崎事務官は熊本縣の人、少壯にして覇氣横溢、其の議論は侍醫のトーンを帶びて非常に元氣に聞かる、

▲八田技師は咸北農産の自給自足を今後五箇年間に遂行する事を力説した、其の意見によると咸北は露領に出稼人や生牛陸路輸出や、漁業等の關係上、農家經濟は收得の方餘程多いのだが、其の食料品のみを見れば尚ほ他道及び間島方面より供給を仰ぐものが少なくない、之れを防ぎたい、尤も大豆の如きは盛んに移出を行つてゐる、さう云ふ類の産物は益々增收を圖ると共に粟の如き燕麥の如き、不足のものを全體から云つて二割程餘計にとれるやうにし、其の農産の自給自足を行ひたいと云ふのであつた

▲伊藤第二部長には食堂で會つた、數日前其の愛孃を亡はれ、恰度除服出仕後一兩日目であつたらう、記者は悔みを述べた外別に多くは語らなかつた、唯道内の農民は割合に富んでゐる、總數八萬二千戶五十萬二千人之れを一方里に割り當つると二百八十五人だから、全道平均一方里千九十八人に比し、其の二割八分に過ぎない、從つて一戶當りの耕地は廣く、又自作農ばかりで小作農がゐないと云ふやうな事をポツリ〳〵同氏より耳にした

▲終りに三田部長の曰ふ咸北勸業の主力を注げる牛に就き少し記さう、何しろ本道は土地曠濶で農家の耕作面積が比較的廣い爲め、耕耘運搬共に畜力に俟つ事が多い、且つ草原地に富み飼育容易に加ふるに極東に於ける畜牛の大需要地たる浦鹽に隣接してゐる爲め、古來牛の飼養は非常に盛んである

▲最近の統計は九萬七千頭を示し、農家一戶當り平均飼育數一頭四分強に當り、其の飼育數の多き各道に冠絶してゐる、唯不幸にして牛疫の根源地たる支那領間島及び琿春と境を接し、之等地方と經濟上最も密接の關係を有してゐるから往々病毒侵入の慘禍を逞しくする事があるから道廳では江岸各地に常に獸醫を常設して警戒を嚴にし豫防制遏に努めてゐる

▲又本道では頻年優良牛を盛んに輸出したため？畜質漸く劣退せる傾きあるを患ひ、四十四年以來種牡牛を設置し、優良牛の蕃産と之れが保留に努め、極力改良增殖に圖つてゐるが、道としては露領並に裏日本方面に生牛輸出の好市場を控へ將來畜牛の需要は益々增加するらしいから今後十箇年を期し、總數二十萬頭に達せしむべく極力計畫中である

日報俳壇

課題 ▲小春（締切十二月八日）▲木枯（締切同十日）▲冬田（締切同十五日）▲蕪村忌（締切同二十日）▲寒雀（締切同廿五日）

（注意）一題に付一人十句以内、用紙は半紙型、本社編輯局日報俳壇係に宛て投稿の事

△今夫に賣る

△日能く買ふ

△現物界

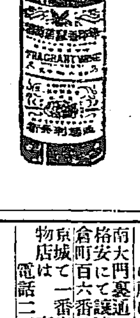
仁川期米 五日の二月限

[illegible]

大景品附
歳暮大賣出し
十二月五日より同三十日まで
京城明治町
唐川吳服店
電話二六一番

會員募集
化學工業講義錄
東京高等工業教授 疋田桂太郎
講師 理學士工學士 二十餘名
見本付會則無料進呈
内容 中學程度講義親切
東京市麹町區飯田町三ノ八七 振替東京三三七五番
大正工業學會

誰人も云ふ様に
最良の健康法は
早寢、早起と
毎朝夕一杯づゝ飲む事です!!
美味 滋養
蜂印香竄葡萄酒を
◎朝飲めば 其日一ぱい元氣よく
◎晩飲めば 疲れは癒りよく睡る
本酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる優良品にして
全國到る處の藥店酒店にありて
最も活潑なる賣行を呈しつゝあり
内外各國の金銀賞牌廿四個受領



東京本町
近藤利兵衛

第六十五回 勸業債券（拾圓券）賣出
總額 五百萬圓 利子年四分五厘（毎年十月拂）
賣出 十二月十一日より二十五日まで
當銀行、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣出す
くじびき 初回は來年三月、以後毎年三月、九月の二回
割增金

等級	金額	初回	二回目以後毎回
一等	貳千圓	十五本	五本
二等	百圓	二百三十五本	二十五本
三等	拾圓	三百五十本	二百五十本
四等	五圓	九百本	四百七十本
計		一千五百本 六萬壹千五百圓	七百五十本 壹萬七千參百五拾圓

大正五年十二月
東京市麹町區内山下町
日本勸業銀行
（振替貯金口座東京第四番）

物品拂下廣告
一、細寒天 六拾六貫四百匁
一、角寒天 六千本
一、釜ノ二番寒天 四貫貳百匁
右賣却ス詳細ハ大正五年十二月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十二月六日
朝鮮總督府

京日案内
普通一回前金三十錢 番外一回前金六十錢 [illegible]
▲申込後中止の節は料金返戻せず

普通

◎外務員募集 精力主義の士履歷書携帶來談 旭町一ノ十一成身院裏 日本徴兵生存保險會社駐在所 857

◎社員募集（男女數名）希望者は自筆履歷書携帶本人來談 京城西小門町 滿鮮公論社 858

◎金融 月收の御方へ極秘信用便宜立替御報伺又御來談 大和町三の三二（柄澤前）起木屋 862

◎店員入用商業學校卒業帳簿係一名 ▲年齡十五六歳以上廿三歳迄數名 南大門二竹田出張所電二三九〇 860

◎金融 月收の方に秘密信用貸便宜立替等御報伺上候來談更佳 本町電車終點北 質屋 大和屋 861

求職 英語に熟達し簿記計算事務に多年の經驗を有する者會社商店に雇はれ度（姓名在社）845

南大門裏通り藥屋建土地百拾六坪格安にて讓渡し度し望み方は北米倉町百六番地森義勇に來談ありたし 847

京城で一番安くて上手で丁寧な染物店は 南大門通二丁目 西野染工場 電話二三八六番 833

古本なら野村 買入誠實御報參上 明治町 野村書店 電話二六三六 827

◎會員募集 都山流尺八教授 要會 本部 京城本町二丁目勢山樂器店内 支部 龍山漢江通森樂器店内

一、販賣人募集 身體强壯、商業經驗者保護人二名（蓬萊町四丁目）東亞牧場 840

番外

質屋開業 京城西大門驛前 森質店 863

盆石教授 細川流家元京城支部 京城旭町三丁目十番地護國寺隣 805

◎京城春川間自動車賃金片道四圓 ◎京城春川間毎日午前八時卅分出發 ◎南大門通一丁目 京春廣橋自動車組 主務 金正淵 ◎電話二一九番 859

醸造用具一式販賣 龍山漢江通十三番地 末原商店 853

銃砲火藥自轉車 ◎京城 ◎太田 ◎公州 瀧川銃砲店 854

中古ミシン買ます 御用の方は御一報次第參上仕候 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店 855

毛皮なめし並に仕立 842

鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電二〇六五 栗元商行 843

恩給年金長期即時立替 利歩二厘五毛 三年迄無保險 京城南大門外 御成町 西鮮支店 京義線沙里院 山口屋 廣川商店

恩給年金低利長期即金立替 短期無保險及無手數 ▲京城永樂町一 商品陳列館表門前 848

好商機 各地へ當店の名義を詐稱し顧客を惑はす者有之候間御注意相成度 當店は一名も派遣せず 京城旭町二 東京パイン萬年筆出張所 江州屋本店 851

◎英國政府の動搖
アスキス首相政府改造を聲明す

倫敦に於ける三日夕刊諸新聞紙の報道する處に依れば英國政府の動搖未だ終熄するに至らず陸相ロイドジョージ氏の辭表は聽許せられざるが如しアスキス首相は三日午後ロイドジョージ氏と會見し交渉を試み夜に入りてクリユー卿ボナーロー、モンテグーの諸氏と會見せり(倫)首相アスキス氏は政府改造に著手すべしと聲明せり(東京電報)

◎英陸相辭表提出
軍事會議の處置に不滿を抱きて

倫敦レーノルド新聞の所報に依れば英國陸相ロイド、ジョージ氏は戰爭遂行に關する軍事會議の處置緩慢に失するを不滿とし快々として樂まざりし矢先き首相アスキス氏が軍事會議員の數を減ずべしとの氏の提議を容れざりしを以て愈々辭表を提出せり又ボナーロー氏ダービー卿も多分陸相に同情し辭表を提出すべし尙ロイド、ジョージ氏は全國遊說の途に上るべく同氏とサー、エドワード、カーゾン氏と提携し從來よりも一層强硬なる手段を以て戰爭を遂行せんとする意氣込を示し居れり(紐育電報)

◎希臘王砲壘引渡

希臘王コンスタンチンは其の砲壘を聯合艦隊に引き渡したり尙英國の諸港に碇泊中の希臘商船は悉く抑留せられたるが之が爲め倫敦駐在の希臘公使は辭任せり(桑港電報)

◎大戰の兆候現はる
露軍優勢羅軍援助を得て進展す

露國公報=我軍はトランシルヴアニア方面に於てツロタス、サルチーの諸谿谷及び諸河流に於て美事なる攻擊を行ひアサル、サルトルを占領捕虜六百名を獲たりダニユーブ河方面アルヂス谿谷に於ては戰鬪の規模擴大し漸く大戰の兆候を現はしつゝあり羅軍は南方より敵騎兵隊の包圍を受け東南方に退却中なるがブカレスト南方に於ける羅軍は此程來著したる露軍の援助を受け首尾克く進展しつゝあり其後鹵獲せる大砲は少なくとも二十六門に達せり(倫敦電報)

◎英國對支要求案

北京來電=英國は西藏問題に關し左の要求案を支那に提出したりと傳へらる(上海特電)

(一)印度より西藏に達する鐵道利權(二)支那が西藏の政治整理の際には英國より借款する事(三)英國西藏間の條約の有效なる事を支那に於て認むる事(四)西藏の實業を開發する爲め英國人をして之れを助けしむる事(五)支那政府は西藏の英國借款償却の義務ある事(六)謂なくして支那は兵を西藏に送る可からざる事(七)官吏の任命は英國と協議する事(八)電信郵便の制度を行ふ事(九)西藏の利權を第三國に割讓せざる事(十)鑛山採掘は英國と合辦事業と爲す事

◎公民代表督軍訪問

奉天に於ける公民會代表者は三日張督軍を訪問し日支交渉案に就き政府に對して詰問するやう促したるが五日再び公民大會を開きて其の結果を公表する筈なり(奉天特電)

◎毛織業者大合同

民間毛織物業者の大合同成立せり(東京電報)

◎派遣武官著釜

歐洲へ派遣を命ぜられたる長野、南部兩大佐並に大島、金子兩大尉は五日午後壹岐丸にて釜山著十一時北行せり(釜山特電)

●財部星野兩中將

財部海軍中將星野同中將は五日朝哈爾賓丸にて門司入港財部中將は郷里鹿兒島へ星野中將は山口へ向へり(門司特電)

平壤

公道廳の府行政監督 平安南道廳に於て管下府郡面收事務を[illegible]し本月は鎭南浦來月は平壤府の檢閲を爲す由而して檢閲官として篠田一[illegible]事務以外病院、屠獸場、消毒組合、墓地火葬場、公園、避病舍、記念林、各種[illegible]任等出張せり同校は教員三名生徒現在百五名なりと▲宰[illegible]遣分隊[illegible]赴任[illegible]

新義州

▲最近經濟狀態 新義州最近經濟狀況を聞くに本年[illegible]假に伴ひ商人中思惑買盛んに行はれ地方面亦相當取引あり只例年滿洲よ[illegible]▲十二圓預金[illegible]銀行支店同月末貸出十三萬[illegible]萬七千三百四十四圓農[illegible]▲最近戶口 新義州警察署[illegible]十七圓也[illegible]最近十一月末日調査府內地人戶數[illegible]たる下士十名上等兵十一名翌十二月[illegible]動を行はれたり▲警務部長歸任期[illegible]るもの十五名ありて管內を通じ大规[illegible]行は來る十五日歸任の筈▲新入兵來著 義州守備隊に入營すべき初年兵七十餘名は三日午後五時來著官民多數の出迎を受けたり▲平北道內に於[illegible]

◎岩本法院長著發

岩本京城地方法院長は五日夜著釜十一時北行せり(釜山特電)

◎林野調査計畫

總督府にては林野調査の計畫成り愈々明年度より著手明年度以降數年間の繼續事業として六年度豫算に其の年割額を計上せるを以て豫算通過の上は年度代りと共に著手の運を見る可し、抑も朝鮮の地積中田、畓、垈の如き課税地並に其の他或る種の土地に對しては土地調査局之れを精査し來り、又た林野中國有に對しては明治四十四年度以降總督府に於て之れが區分調査を行ひ要存林』と何人にも拂下又は貸附し得べき第一種不要存林野の區分調査を爲し來れるが、國有林野中主として緣故者に拂下貸附すべき第二種不要存林野、並に一般私有林野に對しては單に試驗的調査を爲したる個所あるに止まり全般に亙りては未だ全然放棄の儘なるより今回之れが調査を開始す可く前記の如く六年度豫算に於て其の年度割額を計上せるものにて本調査完成の曉には如上諸調査の完了と相俟ち朝鮮の地積は全く査了せらる可し

◎營林廠製材高

營林廠は原木を販賣すると共に一面製材事業を直營して以て諸官廳及び一般需要者の便益を計り居れるは人の知る處なるが製材は從來普通の建築材三十七種ありて之れを品質樹種、材種別に區分する時は實に一千五百二十種の多きに上りたるより自然生産費を增加し爲めに需給兩者の不利尠からざりしを以て本年二月其の種類を九百九十種に減じ以て需給兩者の便益を計りつゝあり今明治四十四年度以降の製材數を表示せば左の如し

年次	製材數	賣材數
	尺〆	尺〆
四十四年	一三五、一七四	一二八、二二七
大正元年	九六、一六九	一五九、三〇六
大正二年	一〇八、五三六	一六七、八〇七
大正三年	八四、一九八	一二二、九四一
大正四年	一三三、四〇四	一三〇、六九〇
大正五年豫定	一一七、〇〇〇	一八〇、〇〇〇

本年度の製材豫定數は前記の通りなるが作業の進捗極めて順調なる由なれば年末までには優に豫定を超過す可く又明年卽ち大正六年度の製材高は製材一萬八千尺にして賣料も亦た同數なりと

◎莞草製品事業
、總督府の補助奬勵

莞草は朝鮮に於ける特産品にして全羅南道慶尙北道を主として黃海道以南の地方に多量の産出あり、其の質强靱にして光澤に富み最も莚蓆の好材料たるは人の知る所にして京畿道江華島、全羅南道寶城、玉果、慶尙北道華山地方の特産に名あり、現今稍な規模を整へて本業を經營せるもの大邱及び京城に各一個あり、前者に對しては既に補助金を交付して輸出向花筵の製造を奬勵する處あり又た後者は內地に於て多年花筵製造に從事し斯業の經驗に富める者にして京城に工場及び倉庫を設け大正三年より其の事業を開始し輸出向花筵及び下駄表等の他各種小細工品の製造に從事しつゝあり、總督府は原料の購入其他事業經營上種々の便宜を供給し又た四年度に於ては原料購入費として補助金を交付する等其の發展を援助せるが最近に至り米國に對して內地商人の手を經て其の製品の輸出を爲せしのみならず尙ほ益々其の需要を增加せんとするの狀況にして目下設備の完成と製品の增加に努めつゝあり事業の前途極めて有望たるを失はず

◎鮮鐵收入激增

朝鮮鐵道運輸の活況を呈し居る事は屢報の如きが其の十一月中に於ける全線の收入は八十八萬九千七百〇六圓の多額に達し鮮鐵としては未曾有の增收なるが其の收入の內譯並に前年同月に比し增收にかゝる營業倉庫の成績左の如し

別	數	前年同月に比し增
客數	四九五、二八七人	一二七、七三九人
小手荷物	一、二〇八、三四五斤	七四、四二一斤
貨物	一九一、四七四噸	二七、二七一噸
客車收入	三八六、八八四圓	八五、四一一圓
貨車收入	五〇二、八二二圓	三六、一一一圓
運輸收入	八八九、七〇六圓	一二一、五二三圓
一日平均收入	二七、四九三	五圓四七
倉庫入庫	一〇、二六八噸	五、四八〇噸
同出庫	七、五三八噸	三、五九一噸
同收入	八五一圓四〇	四一三圓九八

◎新義州と補助貨

近來鮮內各地共補助貨著しく缺乏を告げ到る處取引困難の聲を聞くが新義州にありては各地缺乏の影響ありて多少缺乏の氣味なるも之れが爲め未だ取引上困難を感ずるが如き事なし是れ對岸安東縣に於て一般に流通せる鮮銀補助兌換券五十錢二十錢の各券商取引上に流通を見る結果と滿鐵よりの補助貨廻送により調節塩梅さる爲めなる可し故に今日の狀態にては缺乏と稱する迄には非ずと(新義州)

◎新船の入籍

春來增加一方なりし朝鮮在籍船舶は永田丸の沈沒により噸數の減少を見たるが更に東京飯島純助氏(事實は古河名義)所有山王丸(三三五八噸)は今回南米智利より購入し朝鮮仁川に入籍する事となり其の申告をなし來りしに付遞信局にては目下伊藤須田兩海事技師を神戸に出張せしめ船舶檢査を行ひつゝありと

◎咸南明太漁況

咸南新浦方面に於ける明太漁況に就き元山水産組合支部の調査せる所を聞くに例年に比し漁獲期の早かりしだけ既に本期は良好なる成績を示し居れり卽ち目下出漁中なるは延繩一百四五十隻手繰網一千隻內外にして客月中に於て漁獲されたる明太數量は延繩にて一千五百駄(一隻十駄平均)、手繰網にて五百駄(一隻半駄平均)合計約二千駄を算せり、而して例年の成績を示し來れる刺網は愈々本月中旬より漁撈を開始するに至るべければ此の時期より盛漁期に入ると豫想して大差なかるべしと(元山)

◎露貨

露貨は又復下落を告げたるを以て日蒲貨貨物引換代金換算率中東淸線及び烏蘇里線著の場合は十二月四日より當分の內日貨百圓に付露貨百八十留と協定されたるが露貨は從來に比し五十留方下落せり

◎城津鰊の大漁

本月上旬來城津附近に游弋し來れる鰊は同地方稀有の現象とせられあるが三日迄の總漁獲高は一千二百六十三駄價額二萬四千九百二十九圓に達せり而して最近相場は一駄生鰊にて十六圓內外鹽鰊にては三十圓內外を唱へ居れり販路は一部分鹽藏を除くの外釜山元山方面に仕向せられあるが爲に少なからず海運界を賑し居れり(淸津)

◎客月仁川水產

仁川に於ける十一月中の漁況を聞くに同月は終漁期なるにも不拘氣候溫暖なりしを以て上半月は例年に比し餘程の豐漁なりしが惡疫發生と共に從漁者は日本及び南鮮方面に引揚げたるを以て僅少の漁船に依り收獲し而已なれば水揚高は前月に比し三千餘圓を減じ加したるも昨年同期に比し約七百圓減なりし重なる漁獲は鯛、鮟、海鰻等にして水揚總高九千五百七十二圓中內地船百五隻六千七百圓、鮮船百二十隻千三百七十二圓釜山其他內地よりの委託品千五百圓なりし因に十一月中の平均値段は鯛十五圓五十錢、海鰻六圓、鮟八圓三十錢、鯖七圓、鮟九圓なり(仁川)

◎松汀里倉庫開始

豫て建築工事中なりし湖南線松汀里驛に於ける鐵道營業倉庫は此程落成したるを以て五日より營業を開始せり

◎專用輕鐵許可

豫て鮑製安藏氏より出願中なりし成南利原郡南面昌興鐵山より同郡遮湖海岸に至る專用輕便鐵道の敷設は此程其筋より許可されたり

◎芝罘檢疫變更

曩に芝罘にては鮮內虎疫猖獗の爲め仁川より入港する船舶に對し嚴重なる檢疫法を行ひつゝありしが最早鮮內の虎疫全く終熄せるに依り今回該檢疫法を變更せる旨同地駐在岡本領事より仁川府尹に宛て左の如く通牒し來れり

十一月二十三日以降貴地より當地に入港する船舶に對し檢疫を施行せざることゝなれり但死體入港者、病者、發病者等の場合は[illegible]一九〇八年の檢疫規則を適用せらる[illegible]

[illegible]見習生は約一箇月間講習の上延員に採用し實地作業に從事せしむる筈なり

◎鐵道所會議

鐵道局にては十二月七日より三日間各沿線主要地に駐在せる鐵道所長を本局に召集し和田總務課長統裁の下に鐵道所會議を開催すべしと而して其の程左の如し

▲七日 總務課主管諮問事項
▲八日 諮問事項鐵道所長提出問題討議
▲九日 鐵道所長提出問題討議

◎特科隊新兵入營

龍山特科隊に入營すべき新兵野砲兵第六中隊並に騎兵第三中隊兵四十一名は五日午前八時四十分龍山著列車にて著龍夫々各所屬隊に入營せり

◎撒水は不能と決す

京城市街に於ける冬期の街路撒水は種々調査を行ひたるも結氷のため到底不可能なれば實行せざることに決定せり

◎切田普隣教頭渡米

善隣商業學校教頭切田太郎氏は今回米國に於ける經濟狀況調査の爲め約一ヶ年の豫定にて來十五日出發渡米の途に就く可し尙同氏は朝鮮總督府其他より米國に於ける實業教育制度視察を囑托せられたり

◎鮮人雇員採用

臨時土地調査局に於て今回新に地籍略圖の調製を開始せるが從來地籍圖は各府郡廳にのみ備付け整理し來りたるも取扱上不便少からざるを以て別に之れが略圖を調製し之を各面事務所に備付けて以て整理上の簡便を期せんとする趣なり其の爲先般該作業に從事せしむる鮮人雇員見習生二百五十人を募集したるに募集期間の短きに拘らず應募者甚だ多く所要人員の約四倍强卽ち一千餘名に達し選拔上頗る好都合なりしと云ふ今右試驗の結果を見るに從來の成績に比し非常に良好にして就中國語及び數學の如き其の進步實に顯著にして鮮人教育の一般に普及せる驚くべきものありと

◎張督軍公民會取締

張督軍は公民會の運動に就き傍觀の態度を執りつゝありしが今後一層猛烈に反日熱起らば之を取締る可しと總領事館に通告せり(奉天特電)

◎大連の同盟罷工

四日大連の某工場に大規模の同盟罷工起りたるを以て大連埠頭撫順炭坑等は目下嚴重に警戒中なり(奉天特電)

◎露運送船爆發原因

先般露國アーチアンゼン港に於て碇泊中の運送船數隻爆發したる椿事に就き其の後公報に依るに右は汽船出帆前其の積荷中に爆彈を隱匿しありたる爲め爆發を起し一時に數隻の汽船爆破するに至れるなりと(紐育電報)

◎內地滯貨亦甚し
大阪商船會社釜山支店長談

近時朝鮮出入貨物の停滯は獨り朝鮮各港に止まらず內地各地に於ける貨物の停滯は未曾有の多量に上り神戸大阪の如きは埠頭に收容の餘地なく又た各倉庫も殆んど全部貨物を以て滿たされ就中神戸港の滯貨は一層甚しく鄕船の歐洲航路船に因りて輸入せられ未だ陸揚を爲し能はざる分のみにても五萬噸以上に達し此等汽船は陸揚を爲し得ざる爲め空しく碇泊し居れる有樣なるが大阪商船會社の大連定期船嘉義丸の如きは此程大豆粕七百噸を積載し來りしも阪神に於て陸揚を爲すを得ず搭載の儘大連に引返したるに見ても港の滯貨の狀態を知るを得べし神戸港に於ては最早手段の施すべきものなきを以て現時埋築しつゝある築港防波堤上を均らし其處に假上屋を設け陸上げせんと出願中なりと云へるが斯く滯貨の原因は歐洲戰亂の影響を受け工業大發展を爲したる爲め輸入原料の激增したると又た同じく輸出貨物の增加したるに對し船腹の不足せるより來れる結果にして戰亂の長引くに隨ひて此の趨勢は自然免る能はざるべし而して大阪商船會社に於ては神戸大阪行の貨物に對して一週間前よりの船積證に左の摘要を附し荷主指定の揚陸場所に對する責任を負はざることゝ爲し居れりと

大阪神戸に於て市內倉庫又は解船拂底の際は築港附近其他適當と認むる場所にて荷揚を爲すことあるべし此場合に於ても解船陸揚倉入其他一切の費用は荷主にて引受くるものとす(釜山)

人事往來

▲西崎源太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)五日夜入京天眞樓へ
▲中村長五郎氏(實業家)五日夜入京天眞樓へ
▲井上陽一氏(朝鮮水產會社咸南支店長)五日夜退京
▲津村龜郎氏(江原道技師)▲武內進氏(咸南道技師)▲六日朝退京の豫定
▲ロビンソン氏▲サーヂオース夫人及び令嬢(以上米人)五日夜入京朝鮮ホテルへ

日韓書房 新版報告
虛子著 俳諧師 正續合本 定價一圓二十錢 送料十二錢
奥田義人著 學生論 定價八十五錢 送料十錢
仲小路廉著 強者の天地 定價一圓 送料十二錢
鵜崎鷺城著 現代の歷史を造る人々 定價九十錢 送料十錢
坪內逍遙著 沓手鳥孤城落月 定價五十五錢 送料八錢
京城南大門通二丁目 電話一四五・振替一五一

實業之日本
十二月一日號 一冊拾參錢 郵稅壹錢五厘 半年壹圓九拾五錢 一年三圓七拾錢 東京京橋 實業之日本社 振替三二六番
株は何處まで騰貴するか 實業界名士の觀測
人物の品位 新渡戸博士
京阪の勢力九州に移らん……是だから支那に發展出來ぬ 藤山 大倉
職務上の烈士 増田社長
朝鮮銀行新總裁論(美濃部俊吉氏の解剖)
獨逸の工業動員計畫 法學博士 浮田和民
强壯食劑發見さる 蒙古舊王家の秘藏靈劑……血色體力體量增進す 服用せば
體溫を增すべき食物 櫻田博士
貯金か保險か 利益か

海賀變哲君編 俗曲文庫 義太夫集 全部四卷 上卷出來
上卷內容 沼津の段 朝顏宿屋の段 堀川の段 野崎村の段 熊谷陣屋の段 帶屋の段 三浦別れ 朝比奈上使 鰻谷 寺子屋の段 酒屋の段 ……
1 長唄集(既刊) 2 常磐津集(既刊) 4 淸元集 5 義太夫集(中卷) 6 端唄及都々逸集
正價各五拾五錢 郵稅各六錢 附錄字句略解

實戰應用 活きた定石
中川龜三郎先生閱 七段 四段 瀬越憲作先生著
正價各六拾五錢
第一卷 置碁定石の部(新刊)
2 互先定石の部 3 置碁布石の部 4 互先布石の部 以上續刊
東京本町 博文館

大山内府　衰弱愈々加はる
大御心を惱ませ給ふ
青山博士御差遣＝葡萄酒を賜はる

大山公四日の容態は午前九時頃は前日に比し吃逆漸く減少したるも食慾起らず且つ呼吸不整衰弱愈々加はりたり四日も見舞客相踵ぎ東郷元帥山本伯川村元帥等參邸せり午後二時五十分山縣公は檜の盆栽を携へ來りて之を公の枕邊に供へ親しく病症を問ひ五時二十分提くも　聖上陛下には公爵の病狀に就き深く御軫念あらせられ特に青山博士を差遣はされ親しく公爵の病狀を見舞はせらる博士は西郷侯の案内にて階上の病室に到り　聖旨を傳へ仔細に診察を爲し後三浦博士の到るを待ち治療上の打合せを爲し六時三十分同邸を辭し七時三十分宮中に參内し公の病狀を奏上したるに　陛下には更に御料の葡萄酒一打を御下賜あらせられたりと拜承す（東京電話）

天晴れ、國家の干城に
耐寒設備が完全なので驚く
＝（二）＝睡眠時間が十時間半

新兵の中には、軍隊に入ると必らず醜い目に遭される、惡い下士官や古兵――鬼のやうな週番士官――惡い方面ばかりを觀察した頭を持つてゐた者が多く、殊に滿期除隊になつた者が入營中にあつた自己の經驗を途方も無く誇張して郷里に歸つて言ひ觸らす者等があるので入營するまでは多少疑懼の念を抱いて居る者もあるがさて一たび營門を潜つて親しく軍隊の空氣に觸れて見ると表向きには上下の階級こそ設けられてあれ、上は

◇聯隊長から　下は一兵卒まで眠々として和氣相通じ、整然たる軍規の下に秩序ある一大家庭が作られてゐるのに安心の胸を撫で下ろすのである龍山の營舍は外廓は煉瓦で固め內側は漆喰塗の厚壁に窓は二重硝子、露西亞式の暖爐が備へてあるので耐寒設備としては

◇全く完全な　ものであつて今度入營した兵は暖い地方で育つた者丈に朝鮮の寒いのには始めの間驚いてゐたにも拘らず營舍に入つてからは、室內の溫度が高過ぎると見て夜中窓を開いて、溫氣にほてつた頬を、冷ますべくつめたい外氣を入れる者さへある、彼等が國許へ報ずる

◇安著の書信　中に特筆するのは此の事だらう、その上聯隊では防寒用として二年兵には與へてゐない、毛メリヤスの襯衣を初年兵に與へ、寢具の如きも毛布六枚に敷布二枚包布一枚を供してゐる、又隊馴れぬ初年兵に懷郷病を起さぬ用意として、二年兵に成るべく早く

◇親しませる　やうにと寢床を二年兵と一人挾みにしてゐる中隊があるが、二年兵の多くが新に弟でも出來たやうに何くれとなく親切にするので双方の間に親愛の念が抱つていきうである、それに今度來た兵は朝鮮とは最も密接の關係のある地方の者が多く大抵何村の誰兵衛が

◇何處にゐる　といふ事を國許から聞いて居り、面會にも來てくれるので此の點もよく却つて親兄弟が近傍に居らぬところが不心得な脱營など企てる者は絶對に無い、此頃の隊內の起床は午前七時、消燈就寢が午後八時半で睡眠時間は十時間半もあるので

◇一日の疲勞　を醫して尚ほ餘裕があり、消燈と言つても電燈は終夜燈なので寢てから雜誌を見たりしてゐる者もある、初年兵は一體に今のところ家にゐるより身體が樂であると言つてゐる

七百圓を懷に
僞大盡の大散財　自動車で大浮れ

境玉縣北境玉郡岩瀨村柿沼武雄（二〇）は同人の叔父に當る全羅南道麗州郡麗州驛前雜貨商五月女浦信方に見習の爲め住み込み居る中去る十一月廿六日大膽にも五月女方の金庫より在金七百六十圓を持出し直ちに加東那道內洞德陽面の料理店都館に登樓し同館酌婦木村とら（二六）と云ふを相手に大散財を爲し廿七八九の三日間に八十圓卅錢を費消し夫れより武雄は酌婦三名を自動車にて馬山に連れ出し同地にて武雄は衣類時計其他四十五圓の買物をなして身裝を作り女三人へは反物三十五圓の品を買ひ與へ大盡遊びを爲し居れるが五月女方にては武雄が大金を持出し行衛を晦したるより大に驚き八方に追手を出して取調べ居たる處馬山に同人が浮れ歩き一日午前の汽車にて釜山へ逃げし由を確めたるより釜山署へ同人の取押方を依賴し二日の午後五時十五分釜山著の列車より三人の女に取卷かれ下車したるを取押へられたるが武雄は橫領罪として麗水に送遞せられ酌婦三人は知合なる西町原田某方に引取らしめたり武雄は其時遣ひ殘り金三百八十二圓を所持し居たりと（釜山）

青島の麥酒
四萬函

大日本麥酒株式會社長馬越恭平氏は青島より滿洲方面を視察し五日朝商船哈爾賓丸にて門司著直ちに大牟田に向へり氏の談に曰く青島に於ける麥酒は十二月より釀造し置き來春四五月頃より販賣すべく釀造高は一年約四萬函の見込なりと（門司特電）

長春　晝火事

四日午後五時三十分長春新市街に出火あり變を聞いて驅け付けたる警官憲兵消防隊の盡力と當日無風なりしとを以て約一時間にして鎭火す原因は今猶不明なるも損害高は約五六千圓にして人畜に死傷なし（長春特電）

千人の中、一人は
怖ろしい狂人だ＝和田醫學博士の談

◇精神病學　の見地から見た殺人狂入江三郎に就き大阪醫科大學和田博士の說を叩きたるに博士は『直接診察して見なくては何狂に屬するものかといふやうな事は分らぬが併し狂人には相違ない』と冒頭し『精神狂者といふものは單り入江三郎に限らず

◇大抵の者　は非社會的の行爲を行ふものだ私がこれまで取扱つた精神病患者に就き統計をとつて見た處六十五パーセントは非社會的不良行爲をするものであつた由來精神狂者といふものには詐欺、竊盜、強盜強姦、不敬罪等を犯す者が少くない

◇周圍の者　に暴行を加へたり又自殺をやつたりモ一歩進むと三郎の如く殺人なぞをやるこれが精神狂者の普通事だ三郎は血を見て笑つたから斯うした慘虐の事を好むのだらうなど〻新聞に記してあつたがアレは特に血汐を悦ぶといふのではない血汐と云ふ觀念がなく何か奇麗のもの〻位にしか思つて居ない結果だ夫れは親や兄弟に對しても

◇何等血族　としての觀念のないのと同一だ精神狂者といふものは人口千人に對して二人ある勘定になつて居るから全國にすると什麼內輪に見積つても十萬人は缺げぬ勘定になるので偶然私の調べた統計によつてこれを見ると少くともその內の半分即ち五萬人は非社會的行爲をする者なので我國

◇行監獄に　收容されて居る囚人の全部と略同一の數だが併し精神狂者の方は囚人と異ひその多くは野放しの狀態で僅に全國で四千人位しか病院に收容されて居ない斯麼風であるから入江三郎事件の如きものが起るのは普通の事で從來起らなかつたのが寧ろ不思議な位なものだ何といつても斯うした患者を收容する官立の病院は全國にタッタ一箇所しかないのだ外國には何處にも斯種の國立病院が澤山ある伯林には二つの大きな國立病院があつて五千人位の患者を收容して居る又

◇人口僅に　七十萬內外しかないミュンヘンの町端れにも明治四十二三年頃既に千五百人を收容する病院があつて私の行つた際などには更に千人を收容すべくその增築をやつて居た世の中が文明になればなる程斯うした患者が續出して來るのであるから爲政者は大に此方面に注意をせなければならぬ』

玄界灘の藻屑と
消えた一紳士

平壤大同門通り貿易商方通亨（二〇）は過日大阪に到り東區北濱通二丁目西尾商店方に滯在し四日午前九時釜山入港の連絡船新羅丸に二等船客として乘込みたるが同日午前六時頃迄船室內に橫臥し居たるも其後姿見えず船員等が不審の餘り船內を取調べしも更に行衛知れず同乘者の談に依れば下の關より乘船後は毛布を打被りて橫臥し大息を吐きつ〻打沈み居たりと云へば或は商業上の蹉跌か又は株式に手を出し失敗の結果悲觀したる同船より投船せしにあらずやと目下搜索中なり遺留品は洋服其他高價のもの多く相當身分ある者なるべしと（釜山）

高麗時代の
耳飾り發見

慶北榮州郡順興面石橋里金俸伊外三名の鮮人は去る四月十九日頃同郡順興面石橋里の西方冠岩山の中腹にて墓地修繕中純金製耳飾環狀形其他の附屬品合して重量約十一匁のものを發見し彼れ等はこれを其筋に屆け出ずして隱匿しその後某古物商に賣らんとしたるを同地憲兵が發見してこれを押收し去る十九日古蹟調査のため同地に出張せる關野博士も詳細に調査したる處同地古老の語る處に依れば前記發見の場所は高麗葬の地にして同朝時代貴族の婦人が死亡し埋葬の際前記耳飾り一切を添へて埋めたるものなりと（大邱）

流連から露顯

去る三十日より釜山遊廓綠町一丁目貸座敷電氣樓にて流連し大金を消費せる者ありその擧動怪しきより釜山署の野々上刑事は同人を本署に同行し取調べたるに福岡縣生れ當時安東縣五番通大工職杉原長三（三五）と云ふ者にて十一月末安東縣にて百餘圓を橫領して去る三十日釜山に逃れ來り直ちに同樓に登樓し抱へ娼妓花子を揚げ流連し既に六十圓餘を費消したること判明したれば目下安東縣の被害者に對し照會中なりと（釜山）

動物諸君（三）

溫室の南側には人間に毛の三本足らぬ猿君が居る先づ手近の所では猿中の君子たる態度のハヌマン猿君が居る、君は他の連中と異ひ下品な食物爭ひをしないところが大に見上げたものであるが近頃のポックット猿君リーサアス君豚尾猿君まつた酔ばらひのやうに眞紅な顏した日本猿君などは何れもキャア〳〵キイ〳〵!!南京豆の奪ひ合ひをする摑み合ふ、ても御話にならぬほどお行儀が惡い、殊にポッケット君と來ては長い尾でぶら下りつ〻宙に下つて摑み合ふ喰ひつくわめくといふ亂暴者で中には頭に噛みつかれて血に染みながらしく〳〵泣き出す小猿も居る『サアお手頂戴〳〵』此奴淚をこぼして居やがる』と看手君が笑ふ、折から小學校の惡戲連中が『猿の臀あ赤いぞ〳〵!!』とはやし立てると猿君大に憤慨してギー〳〵と白い齒をむき出す――序ながら朝鮮には猿が居ない

小切手で二百餘圓
小使鮮銀支店を欺く

元山春日町貿易商大盛商會小使孫英熙（一七）は十一月二十三日夕刻事務員等の不在中事務室の机の抽斗より朝鮮銀行元山支店が同商會に交付したる小切手帳の中二枚を拔取り內一枚は書き損じ燒毀し他の一枚に金三百三十圓と記入し三階支配人の實印を盜捺し翌二十四日午前十時頃本町一丁目の鮮銀元山支店にて記載額三百三十圓の現金を騙取し持ち歸りて蒲團の下に隱匿し居れる內鮮銀にては係員が記帳中年月日欄に『大正五年二十四月』と誤記しあるを發見し之が訂正方を大盛商會に電話にて照會したるが端緒にて右の惡事露見し英熙は直ちに元山署に引致さる

故清本氏葬儀　警務總監部

警務總監部囑託憲兵特務曹長清本龍藏氏の葬儀は五日午後四時妙心寺に於て靜肅に執行されたるが警務總監部員其他官民四百餘名の會葬あり山形高等警察課長、總監部及び憲兵司令部中任官總代、友人總代の弔詞朗讀あり盛儀なりき

故鈴村屬葬儀　商工課屬故鈴村

文六氏の葬儀は五日午後四時三十分より大和町光本寺にて執行せられたり式は神官の修祓に始まり祭主の祝詞奏上あり次で未亡人近親及び參列者一同玉串を捧げ閉式せり當日の會葬者は小原農商工部長官、農商工部各課長其他約二百名にして盛儀なりき

▲近著の學士會名簿によると總數一萬五千五百七十五人だが、其內各殖民地に幾人の學士が散布してゐるかと云ふに▲朝鮮には五百五十五人、臺灣には其の半數で二百八十四人、樺太は唯の二十六人、而して關東州を合した支那は四百五十六人と云ふ數になつてゐる之れなどは智識階級の注意がいかに支那に向き出したかと云ふ事を語つてゐる▲朝鮮の學士も仲々多いが、其中でも官吏や辯護士を主とする法學士が第一位で、次は工學士、醫學士、農學士、理學士、藥學士は餘り其の數に及ばなく文學士に至つてはずつと減るさうだ▲南大門通りに空つ風が荒れて外套の襟を立てる頃になると市內の辻に色々な毛皮を持つた鮮人が立つて懷中の溫かさうな日本人の袖を惹く昨今もポツ〳〵斯此の毛皮賣りを見受ける樣だが、此の連中に眞面目な商人は殆ど無く大底はイカもの喰はせの香具師である▲總督府秘書課長遠藤柳作君が初めて京城に渡つた當時初冬の或る夕方鮮銀前を歩いてゐると例の毛皮賣りが寄つて來て獺々といひ乍ら美しい毛皮を鼻先きに突き出した▲其處で遠藤君一パシの通を氣取つて賣値八圓といふを四圓で買ひ取り掘り出しもの〻積りで早速ナメシ屋に持つて行くと、亭主吹き出し『斯んなものを獺と欺される位の貴方やで大方二三圓も出しなすたやろ、コレをナメスにや二兩もかゝるが私の店ならナメシた奴を二圓五十錢で上げますせ、コリャあんた山猫やがな、ワ〳〵〳〵』と來たので遠藤君眼を剝ぎ地圖太踏むで警察署へ驅け付けると受付けの警官鼻を捻つて『欺す奴も欺す奴だが欺される貴殿も貴殿ですナ』

美顏白粉をお使いになつて　（其十二）

五六、たまもの　樺太本斗村遠節小學校內　家久とし子殿

私が美顏白粉を使つて感じました事は、第一に生れつき色が白いやうに開く事でした。それに大そう美しい光澤が出て、そばで見ても其れとは一寸見分が附かず、ほんとに奥床しいお化粧が出來るのですもの、私の知てゐる方々はじめ、私までも顏の生地まで白く、そして活々した美しいつやがありますのは、全く學者の作られた美顏白粉の賜であります

五七、お茶の會　埼玉縣本庄仲町　渡邊千代子殿

親しいお友達、鶴子さんは斯う語られました。鶴子さんのお許しを蒙つて書きしるします。昨日のお茶の會、あれが見合であらうとは私ちつとも心付きませんでした。でも何となく心配で、女の命とも賴むお化粧の崩れはせぬかと、何度ふところ鏡をのぞいたか知れません不安で眺める鏡の面には、少しのムラもなく、且つ品のよい化粧ぶりに今更ながら美顏白粉の他の品々に數等優れる事をつく〴〵感じました。私はこの從來の白粉に無い品質を持つ美顏白粉を御創製下さつた先生方に、深く〳〵感謝いたします。

五八、不思議な特長　千葉縣銚子町西芝下町　多部田福子殿

お隣の雪子樣は、それはすばらしい御容貌もいゝけれども、またお化粧のお上手なこと〻、肌を始め私どもでは皆、雪子樣の毎も眠味のない上品な、美しいお化粧のお手際に感心して居りましたが、或日色々お話のお序に伺つて見ましたら、それは學者の作つた白粉として名高い美顏白粉を使つて被居るのだとわかりました直く營めて試してみますと、まあノリやノビの良いことと殊に美顏水で溶いて用ひますと、白粉がほんとに思ふ儘に附き、光澤が如何にも美しく附きます。此樣な簡單で手早くそして眞に美しくお化粧のできる不思議な特長は、美顏白粉の外に無い事を知りました。

五九、色さへ白くば　東京北豐島郡三河島町　島野ふじ子殿

色さへ白かつたら醜へ不具でも……とまで時には思詰める事もある位、從つてどんな白粉でお化粧しても綺麗に行かぬ事を苦にして居りました私は自分の色の白く美しくない事姉も不便に思つてか、年末や中元は毎も化粧品でした。今年の御中元は何であらうかと開けて見ると、其れは美顏白粉と美顏水でこれが私の使ひ始めでした。一度使つた丈けで從來の種々の白粉とは違つてお化粧が如何にも綺麗に出來るのに勇立つて、それからは毎日缺さず使つてゐますが、此頃では生地も大變白くなつたといつて姉も喜んで呉れます。これも偏に諸先生のお蔭と厚く感謝致して居ります。

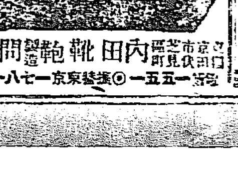
六〇、白粉中の白粉　兵庫縣城崎郡千木村　國重梨花子殿

妾のお化粧が近頃上手になつたと仰在るの？那麼事御在ませんわ。妾のお化粧法とて、唯有名な、學者の創製になつた美顏白粉を使つてゐるだけですわ。色々と白粉を持つてみましたが、美顏白粉程なのはありません。第一色が至つて白く、よく荒れた顏にもそひ、ノリやノビも他に類なく、いつ迄置いても固くならぬ等は此白粉の特色でせう。妾は此白粉が白粉中の白粉だと思ます

六一、嫁ぎ行く人　岡山縣津山町　うたかた女殿

美しい妙さんの花嫁姿を思浮べながら通ひ馴れてゐる門を入つた。勝手は分つてゐるので、そつと裏口へ廻つて化粧部屋に行つた。『今ね、白粧が乘らなくて困つてゐるの』と毎になく叔母さんのそわ〳〵した御容子。私は若しやと持つて來た美顏白粉を始めた『いゝ匂ね』と妙さんが小聲で言ふ。思切つて濃く附けた襟足ぽつとぼかした頰の薄紅『まあ美顏白粉で綺麗に附いたこと』と思はず微笑む時、叔父樣の室の方から樂しい笑聲が洩れて來た。

▼ボイル油（鯨印、志水印、鈴印）
▼テレメン油（カブト印）
▼クレオソート油（殺虫防腐　鈴印）
▼諸機械油（大當り印）
▼コールタール（全）
▼牛脂・ヘッド（大當り印）
▼カストル油（全）
▼コールピッチ
▼其他油脂塗料製造
大阪　合資會社　吉川製油所


定價表二錢郵券送附
東京市芝區三田　內田靴鞄問屋　製造販賣　電話一五一○　振替東京一七八一

月さらえ　一日丸
一日丸は左の諸症に最も不思議の効顯る……
▲月や〳〵不順を…調る
▲月や〳〵不通を…通じ
▲月や〳〵困難を…治す
眩暈、耳鳴、頭痛、肩張り、動悸、下腹、腰、子宮病等を治癒す
本名古屋廣小路小林盛大堂
家大阪市平野町小林大藥房
▲發賣…全國各藥店に有

受驗法律書案內
㊀朝鮮諸官廳受驗必讀　法律講義　阪上綱吉　特　七五
㊁同　法律問答　同　四〇
㊂同　三語補作文軌範　全　安達大壽計　四〇
㊃同　會話譯文速成　全　同　四〇
㊄同　朝鮮行政法規大意　同　四〇
㊅同　同　續編　同　四〇
㊆朝鮮行政法要論總論　田口春二郎　永野清　共著　一、〇〇
㊇同　各論　同　一、〇〇
㊈朝鮮總督府巡査受驗提要　永野清　特　四五
㊉朝鮮熟語解譯　金山之井蘇治　五五
對譯日鮮　書朝文獨習　附公用文　大田正篤　鄭泰鎭　共著　五〇
國語鮮語雙舌通解　小野綱方　八〇
國語寶鑑　安達大壽計　特　六〇
普通文官受驗提要　原友巳　共著　七〇
改訂判任普通文官試提要　吉川萬　原友巳　共著　特　四五
鮮文普通文官應試提要　山之井蘇治　七〇
公文用字例　江原　一、〇〇
帝國六法全書　有斐閣發行　並　一、三〇
ペン數字練習帖　大阪屋號編　一〇
京城本町二丁目　大阪屋號書店

[illegible]の行政事務に對しては特に嚴格鄭重なる監督を爲すの必要ありとし無年一層精密なる檢閲を爲すことに決定せが尚檢閲事務は法人たる府の事務官廳としての府の事務並に學校組合の事務等にして一般行政[illegible]

[illegible]山に公立普通學校を設置し[illegible]十一月四日午前十一時より開校式を擧げる道廳より工藤長官山崎學務主任[illegible]發せり

[illegible]新任の挨拶を爲し五日任地に向け出[illegible]

の[illegible]宜しく雜貨の賣行盛にして市場頗る活况を呈せり綿布絲の需[illegible]遅れ農民の爲め輸入の少なく獨り木材にありては益々取引盛んなり朝鮮銀行出張所十一月末日貸出十五萬九千五百八[illegible]

義州

[illegible]七月人口一四七五八なり[illegible]

▲憲兵隊異動　義州憲兵隊にて去る十一月三十日現役滿期に付除隊を命ぜられ[illegible]曹長以下[illegible]名伍長より軍曹に五名何れも進級し新に伍長に任官した管內各隊巡閲中の小澤警務部長及び隨行の石澤福山伊藤三警部の一[illegible]

[illegible]聞くに種類四百六十九種にして[illegible]新義州府に於て一千三百四十四部[illegible]に於て一千八百十三部なりと

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

二 女の行方 【三の四】

『君、それでは僕の爲めに一臂の力を惜まずに呉れると云ふんですか。』

幸三郎は、孤島で清水を發見したやうな嬉しさを以て、念を押したのである。

『無論さ、君。』と、村山は一段と聲を勵まし『外ならぬ君の痛苦を傍觀する譯にはゆかんからね。殊に、君、許嫁と定つてる無垢清淨の處女を、怎麼に親の權利だからと云つて、壓迫的強請的に他へ嫁入らすなんて云ふ事は、餘りに人類の道德と貞操とを無視した問題だからね。』

『いや、君なればこそです。實は今日も僕は、斯う云ふ時に相談對手になつて呉れるべき友達を一人欲しいと思つて、心中窃かに去年歿くなつた瀧川の事を考へ出しながら、歩いて居る處を、偶然にも君と邂逅した譯なんですが、僕は君の今の一言を聞いてから、遙かに什うやら、一人の兄を拾ひ得たやうに嬉しく思ふんです』

唯個年老ひたる母一人の外は、友人もなく味方もなく、切ては許婚の綱代丈でも、將來では、自分の力草になつて呉れるであらうと、娯んで居る甲斐もなく、今日のやうな有樣になつて見ると、しみ〳〵社會のさびしさと、人情のつれなさを悲まずには居られなかつたのである。其處へ偶然にも、村山の如き頼母しい力強い後楯が出て來たのであるから、眞實兄を拾ひ得たやうな喜びを感じたのも、決して無理はないのであつた。

『はツ、は、は、今から然う感謝の意を表されても困るがね、君、善事は躊躇す可らずぢや、飯でも喰つたらそろ〳〵とその綱代さんの自宅の方面へ出掛けて、樣子を探つて見やうぢやないか。』

『然うして頂ければ、更に難有いです。彼女の家と云ふのは、つい此處からは四五丁と離れない、五番町の低い通りなんですから……。』

『それぢや尚更、無駄足に歸した所で腹も立たんよ、さア、然う云ふ事に決定しやう。』

二人は、好い加減に酒を切上げ、食事を了るとその儘、一直線に五番町の低い通りへ出て來た。釣瓶落しの秋の日は、もう何時の間にか暮れ際に迫つて、西の空にほんの少しばかり明日の天氣を豫報するやうな茜色の雲の千切れが殘つて居る丈であつた。

『君、實に日脚が短かくなつたね。』

『本統に、少し朝寢でも爲た日には朝の電燈と夕方の電燈と、ちやんぽんに點け替るやうなものですよ……』

『そりや然うと村山君、目的地は此處なんですがね。』

『はゝア、既う敵城へ來て了つたのか。成程、君の前だが、餘り芳しからぬ城砦だね。』

二人が足を揃へて立ち止つたのは即ち白富總十郎の門先であつた。五十年の昔は槍一筋であつたかも知らぬが、今は捨どころの話は偕措き、洋杖一本の置場にも苦しむやうな入口

『君、倉橋君、電燈こそ點とるやうだが家の人は留守のやうぢやないか』

『何だか森閑として居るやうだね。』

元來が人通りの少い上に、片側が大屋敷の樹木で、天蓋のやうに往來を蔽つて居るので、その陰氣さと云つたら、又格別なのである。

『歸る事はない、僕が一つ案内を請うて見やう。』

無頓着の性質に加へて、酒と云ふ附物のある村山一雄は、大手を振りつゝ戸口へ差寄り、

『失敬ですが、烏渡お訊ね爲ます。白富さんは御在宅でせうか？』

呼んで見ても返答がないので、是は屹度全家內留守だなと思つた。

『倉橋君、駄目らしいよ。然し、日暮れ方に入口を開け放しの留守とは合點がゆかんね。』

『誰か一人位は留守番でも居さうなものだがね。』

眞暗な電信柱の蔭に、胸を動悸つかせながら佇んで居た幸三郎は、小い聲で斯う答へながら、村山の側へ歩き寄て、共々家内の容子を窺つたが、内には正しく人の氣色がないらしい。

突然に吠ね立つた裏長屋の犬に驚かされて、二人は仰天！急がしく其處を立ち離れやうと爲る處へ、濡れた手拭と石鹸の函を手に爲ながら、ぶらり〳〵と歩いて來た一個の老人がある。

移轉診療
京城南大門驛横二見旅館内にて診療中の處患者各位の御便利上長谷川町
十二月一日より移轉從前の通り診療に從事仕候
安東病院外科室に
肛門病痔疾注射專門醫院

●千利堂の●ハウスホールド、ビスケット永らく品切れにて御待ち兼れの●ハウスホールド、ビスケット●着荷しました御用命あれ
電話（南大門通本店二七一 本町二支店二九三〇）

□大田湖南吟社句集

木兎

木兎や片割月の猪待納屋 桃雨
木兎や藪荒神の夕灯 同
木兎の鳴く杉の梢や月の暈 雅溪
仇妻呪ふ森の神樹や木兎の聲 同
木兎引くや手眞似て話す道と森 江月
破產競賣の夜の木兎 夢樂夫
守城の策盡きて夜な〳〵木兎 同
看護疲れの夢懸かす木兎の聲 淡水
嫉妬の焔魔神の森や木兎の鳴く 同
山里は蕭雪隱に木兎を聽く 中京
祈願こむ聖天山や木兎の聲 同
夜藥も耳馴れ更く木兎の聲 待宵
木兎いたく鳴きし夜なり今思ふ 同
燈明は消えて木兎鳴く社頭哉 萱水
木兎や拾ひに戻る落しもの 同
木兎や夜の火藥庫を守る兵 不倒
木兎や星明りする孔子廟 同
木兎や森の奥から夜を鳴り 六合
參籠の水垢離とるに木兎聽けり 春三女
狂姬理し廢城の井と木兎の聲 同
近山の雪に卷く鼓木兎遠し 風骨
梟首の耳鳴る風や木兎騷ぐ 同

■水仙を抱いて 靜軒

▲十二月二日拙宅（三十四號官舍）に居を移すにあたり倭城臺の居を去るとき
水仙を抱いて谿の居を去れり

▲新居の朝
麗うら〳〵と南山を見る冬の朝 二

讀者の領分

▲三日午後一時四十七分仁川上列車の著する頃南大門驛旅客案內所に無理な御願をせしに係の御方の態度懇切親切を極め洵に行届きたる御世話忘れ得ず只御芳名を逸したるを憾む（仁川の一旅客）▲南大門の入口の兩側に何時も水が流れて居るそれが人間の排泄水だから臭くて耐らぬ切に共同便所の設備を望む（清潔生）▲又復市中をイカサマ入齒師徘徊し留守居の婦人鮮人中の無智者を誑し豫約金を騙取しつゝあり其筋の取締と諸君の御注意とを促す（被害者の一人）▲南米倉町の市場の近所は人を滿載した車が道を塞いで通行が出來ないが何とか其筋の取締が願ひ度い（迷惑生）▲四日夕刊御所載の『倭松樹』を見に行きましたら五六人の同好者と落ち合ひましたが瞬接の赤煉瓦建は樹の保護上差支は無いだらうか案內札を建てた方がよくはないかと話し合つて居ました（實見生）

新刊紹介

▲朝鮮銀行月報（十一月末日號） 參考資料欄の財政、貿易、通貨、物價及勞銀、朝鮮、滿洲、內地の金融概況等見るべし（五十錢朝鮮銀行）
▲農業世界（十二月號） 町村と神社（前田子爵）農村の諸問題、加藤敦之助農民富の秘訣（澤野淳博士）等の論說あり其他如例（二十錢東京市日本橋區本町三博文館）
▲工友（十二月號） 鍛鍊コンクリート技術フレーム、朝鮮總督府建築標準、工事案內、現下の石材界、無線電話の將來其他（十錢京城長谷川町八四工俱樂部）
▲婦女界（年末經濟號） 本號には殊に有する夫の道『鳩山春子刀自』經濟家になる秘訣『澤柳博士』家庭は如何に經濟と云ふ事を理解すべきか『小松綠夫人』『小宮かつ子』等……
▲科學世界（十二月號） 砂糖の話『宇佐美博士』狐の話『阿部理學士』人口改良學と優生學に就て『高田耕太郎』思想の實現『鉄泉生』南洲と化學工業『中村靜』石灰の生殖に及ぼす影響『石川金太郎』蝶の色々『桑山茂』等興味多き記事を收む新號其く皇太子殿下より御買上の榮を擔へりと（二十五錢東京市本郷區湯島四ノ八共社）
▲大陸（十二月號） 滿蒙問題に就きよ『社說』此方針にて支那に對すべし『尾崎行雄』思想改革が支那の急務『島居一太郎』肥料と布天文家『石博士』胡鮮夫來人物『記者』稿神態養の根抵『高木博士』家族制度を維持せよ『澤田博士』製藥と滿洲…其他依例內容充實（二十錢大連浪花町二の一〇八大陸社）
▲海紅（十二月號） 劍技と並に彼銘消息集各地俳況等如例（海紅社）

大阪期米（四日）
後場高値寄付十七圓三十七錢△中限寄付十七圓六十六錢△先限寄付十八圓〇九錢
高値 安値 止め
▲五日後場
▲更に新高値
▲後場の手振
▲堅能く賣る
▲への商內

御園白粉
御園白粉のお化粧振りは、一目見てスグ判ります。其れは乗と伸が好く誰方にも綺麗に白粉が着くからです
常平生お顏の御手入れに、肌理を細かく滑らかにする化粧水御園四季の花をお附け遊ばすと、御園白粉は濃くも淡くもお望み次第の美くしいお化粧が出來ます。
御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(180)

お歳暮には
消化と毒けしに
仁丹が一等！
金言 有用なら人が爲めに學べ（英國俚諺）

醫界の推奬大家の人の言ひ
滋養大補 大正丹
老衰を歎き給ふなよ
病弱を悲み給ふなよ
大正丹の効を驗し給へ
疾々次の諸症に
△貧血虛弱 △病後產後 △老衰息切 △精力減退 △消化不良 △慢性諸病 △神經衰弱 △肺心臟病
●各藥店に在り ●藥價 小瓶五十錢 中瓶一圓 大瓶二圓
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

東京で評判のせきの藥は
東京田中 たんせきの民藥
幾多の弱い人が是で强壯になつた强壯藥
ゼンソク、タンセキにてねられぬ人小兒百日せきに有効保證卅錢を試みよ無効返金す東京田中せきの藥と御求め被下度（藥價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、一圓、振替東京一八九五）
東京日本橋區馬喰町四丁目 田中濟起堂

贊化病院
京城本町二丁目 電話二四二番
内科 小兒科
入院隨意
無料施療す 毎日五名を限り
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

巖松堂書店 新刊圖書御案內
書名 著者 定價
朝鮮現行官制官規 巖松堂 七、五〇
同 民刑法典 同 一、五〇
同 警察衞生法規 同 五〇
朝鮮地方行政法規 同 四〇
同 租稅及會計法規 同 二、〇〇
同 土地林野法規 同 五〇
同 水產法規 同 一、〇〇
同 交通運輸法規 同 一、〇〇
同 現行諸法典 同 八〇
債權總論講義案 堀山秀夫 七五
物權法提要第一卷 三瀦信三 七五
經濟原論上卷 山崎覺次郎 一、〇〇
大正の青年と帝國の前途 德富猪一郎 八〇
弱者の爲に 杉村楚人冠 一、三〇
大正六年度日誌いろ〳〵 澤山著荷仕候
京城本町二丁目 電話二二六六番 振替京城二四五四番 京城店 仁川店

りん病 ばい毒 請合藥
京城南大門外停車場前 トラック商會滿鮮本部
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽ニ相成リ御注意

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 十二月 日後五時出帆
○小倉丸 十二月 日後五時出帆
○山清津、浦鹽行 十二月 日後十時出帆
○立神丸 十一月 日後四時出帆
○小倉丸 十二月 日後四時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 三琴平丸 十一月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 十月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天晃丸 毎月二日八日十四日廿日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 有吉丸 十二月 七日後四時出帆
○秀吉丸 十二月十一日後四時出帆
○君が代丸 十二月十三日後四時出帆
○神代丸 十二月十四日後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 杉商回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽行 三河丸 十二月 日 正午出帆
○大連、秦皇島行 相模丸 十二月十二日 正午出帆
砂丸 十二月廿一日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
外航路所屬航路並洋航路を除く
群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 安東丸 十二月 七日後五時出
天草丸 十二月十二日
木浦、釜山、原原、兎の浦、長崎行 信濃川丸 十二月十三日後二時出
群山、釜山、長崎行 福州丸 十二月十七日後二時出
木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 安東丸 十二月 五日正午出帆
大連直行 鎮南浦、大連行 信濃川丸 十二月九日後二時出
潮州丸 十二月十一日正午出帆
鎮南浦大連行 福州丸 十二月十九日正午出帆
清津、浦鹽行 十二月 日正午出帆
上海、基隆、打狗行 基北丸 十二月十五日午前六時出
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內地延通商船支店

朝鮮郵船出帆
全羅丸 京畿丸 十二月 五日 釜山發
黃海丸 十二月十六日
咸鏡丸 十二月廿一日
稻城丸 十二月十三日 元山發
昌平丸 十二月十一日
鏡城丸 十二月 日
第二錦旗丸 十二月 日 元山發
忠清丸 十二月 七日
平壤丸 十二月二十日
益德丸 十二月九日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山發
襄陽丸 浦項發
三浦丸 十二月十一日 釜山發
濟州丸 毎日 釜山發
統營丸 五洋丸 慶寶丸
順天丸 三日目毎に 木浦發
慶興丸 十二月九日 木浦發
慶興丸 十二月十二日 木浦發
公州丸 十二月七日 木浦發
宗信丸 十二月八日 仁川發
江原丸 十二月七日 仁川發
晋州丸 麗水丸 十二月八日十一日 仁川發
全州丸 咸陽丸 毎日午前 仁川發
本社 京城南大門通 代理店 松原運送店

仁川共同汽船出帆
芝罘、大連行 第一共同丸 十二月十日入港 十二月十二日正午出帆
仁川代理店 阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
元山代理店 春日町 田口回漕部
京城取次店 南大門 河村運送店